

FLUOROSCAN.  
InSight®-FD



**InSight®-FD ミニ C アーム画像診断装置  
ユーザーガイド**

MAN-10192-1202 改訂 001 版

**HOLOGIC®**



# InSight<sup>®</sup>-FD

ミニ C アーム画像診断装置

## ユーザーガイド

部品番号 MAN-10192-1202

改訂 001 版

2023 年 10 月

**HOLOGIC<sup>®</sup>**

注意：米国連邦法により、本装置の販売は医師（または適切な免許を取得して開業医）による注文または指示がある場合に限定されます。

## カスタマー サポート

フリーダイヤル（米国）：+1.800.321.4659

Eメール：SkeletalHealth.Support@hologic.com

ヨーロッパ、南米、アジアのお客様は、現地の販売代理店または取扱店にお問い合わせください。

© 2023 Hologic, Inc. Printed in the USA. このマニュアルの原文は英語です。

Hologic、Fluoroscanner、InSight、MegaView、および関連するロゴは、米国および/またはその他の国における Hologic, Inc. および/またはその子会社の商標および/または登録商標です。その他のすべての商標、登録商標、および製品名はそのそれぞれの所有者の財産です。

本製品は [www.Hologic.com/patent-information](http://www.Hologic.com/patent-information) に示すとおり、米国または国外の 1 つまたは複数の特許によって保護されています。

# 目次

図一覧	ix
表一覧	xi
<b>1: 適応</b>	<b>1</b>
1.1 基本性能	2
1.2 保証	2
1.3 ユーザープロファイル	2
1.3.1 教育	2
1.3.2 知識	3
1.3.3 経験	3
1.3.4 許容される障害	3
<b>2: 放射線の安全性</b>	<b>5</b>
2.1 全般	5
2.2 被曝線量と線量率	5
2.3 X線防護	5
<b>3: X線装置に対する規制</b>	<b>7</b>
3.1 米国連邦規制および州規制	7
3.2 準拠	7
<b>4: EMI</b>	<b>9</b>
<b>5: サイバーセキュリティ</b>	<b>11</b>
<b>6: アクセサリ</b>	<b>13</b>
<b>7: マニュアルの入手方法</b>	<b>15</b>
<b>8: 用語と定義</b>	<b>17</b>
<b>9: InSight-FD のシステムラベル</b>	<b>19</b>
9.1 システムメインラベル	19
9.2 X線システム警告ラベル	20
9.3 感電警告ラベル	20
9.4 押し移動禁止警告ラベル	21
9.5 ISO 7010-M002 ラベル	21
9.6 視野	22
9.6.1 記号	22

<b>10: 安全上の問題</b>	<b>25</b>
10.1 放射線の安全性	25
10.2 電気の安全性	25
10.3 バランス崩れの危険	26
10.4 画像機能の喪失	26
10.5 X線管の無許可での改造	26
10.6 電気火災	27
10.7 爆発のおそれ	27
10.8 フットスイッチの安全性	27
10.9 衝突のおそれ	28
10.10 清掃の安全性	28
10.11 装置の安全性	29
10.12 電気手術機器	29
10.13 つまづき	29
10.14 指はさみ注意	30
10.15 電源コードの破損	30
10.16 視界不良	30
<b>11: システム構成部品</b>	<b>31</b>
<b>12: 操作ボタンおよびインジケータ</b>	<b>33</b>
12.1 X線ヘッド制御パネル	33
12.2 キーボード操作	35
<b>13: InSight-FD 20cm SSD コーンの取り付け方法</b>	<b>37</b>
13.1 取り付け手順	37
<b>14: フットスイッチ機能</b>	<b>39</b>
14.1 X線画像の取り込み	40
14.2 MegaView 画像の表示	40
14.3 画像のタグ付け	40
14.4 画像の保存	41
14.5 画像の印刷	41
14.6 フットスイッチの保管	41
<b>15: システムの使用</b>	<b>43</b>
15.1 システムの移動	43
15.2 Cアームの調整	46
15.3 滅菌Cアームドレープ	47
15.4 システムを起動する	48
15.5 システムをシャットダウンする	49
<b>16: アプリケーションの設定</b>	<b>51</b>
16.1 System Configuration (システム設定) ユーザーインターフェイス	51
16.2 システム	52

---

16.3	DICOM 送信のオプション .....	54
16.3.1	DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション) .....	57
16.4	ワークリスト設定 .....	59
16.4.1	Users (ユーザー) .....	61
16.5	Physician Preferences (医師の設定) .....	62
16.6	Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み) .....	63
16.7	Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	65
16.8	Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	68
16.9	Administrative Settings (管理者設定) ページ .....	70
<b>17:</b>	<b>アプリケーションの使用</b> .....	<b>71</b>
17.1	被検者の位置決め .....	71
17.2	Main (メイン) 画面 .....	71
17.3	X線ヘッド制御パネル .....	76
17.3.1	画像の取り込みセッション .....	78
17.3.2	Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 .....	79
17.3.3	フィルムストリップの記号 .....	82
17.3.4	Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ .....	88
17.4	Review Images Session (画像セッションのレビュー) .....	90
17.4.1	Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ .....	90
17.4.2	Review (レビュー) 画面 .....	92
17.5	被検者の検査レコードの運用 .....	96
17.5.1	Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ .....	96
17.6	Export Images (画像のエクスポート) .....	97
17.6.1	Review Images (画像のレビュー) 画面からエクスポート .....	97
17.7	Import Images (画像のインポート) ウィンドウ .....	102
17.8	Worklist Entry (ワークリストのエントリ) .....	104
17.8.1	オプション 1 : Tools (ツール) のサブメニュー .....	104
17.8.2	オプション 2 : Patient Information (被検者情報) 画面 .....	104
17.9	Delete Images (画像の削除) .....	105
17.10	View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ .....	108
<b>18:</b>	<b>システムのメンテナンス</b> .....	<b>109</b>
18.1	システム バックアップ .....	109
18.2	システム復旧 .....	109
18.3	クリーニング .....	109
18.3.1	推奨される消毒剤 .....	110
18.4	予防保守 .....	110
18.5	トラブルシューティング .....	110
18.6	廃棄 .....	110





## 図一覧

図 1: InSight-FDミニCアーム .....	1
図 2: システムメインラベル .....	19
図 3: X線システム警告 .....	20
図 4: 感電警告 .....	20
図 5: 押し移動禁止警告ラベル .....	21
図 6: ISO 7010-M002ラベル .....	21
図 7: 視野 .....	22
図 8: Cアームの回転 .....	37
図 9: コーンの向きの調整 .....	38
図 10: ワイヤレスフットスイッチ .....	39
図 11: フットスイッチの保管 .....	41
図 12: ブラケットに置かれたフットスイッチ .....	43
図 13: 下向きにしたキーボード .....	44
図 14: 移動位置のCアーム .....	44
図 15: キャスター後輪 .....	45
図 16: Cアームの調整 .....	46
図 17: 滅菌Cアームドレープ .....	47
図 18: システム設定メニュー .....	52
図 19: システム .....	52
図 20: DICOM送信のオプション .....	54
図 21: DICOM Print Options (DICOM印刷オプション) .....	57
図 22: ワークリスト設定 .....	59
図 23: Users (ユーザー) .....	61
図 24: Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み) .....	63
図 25: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	65
図 26: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	68
図 27: Main (メイン) 画面 .....	71
図 28: システム設定メニュー .....	72
図 29: Tools (ツール) メニュー .....	74
図 30: Select or Enter Patient (被検者の選択または入力) ウィンドウ .....	78
図 31: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 .....	79
図 32: Image Effects (画像の効果) メニュー .....	80
図 33: フィルムストリップの記号 .....	82
図 34: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー .....	83
図 35: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン .....	83
図 36: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ .....	88
図 37: Study for Review (レビューする検査) .....	90
図 38: Review Images (画像のレビュー) 画面 .....	92
図 39: Patient Details (被検者の詳細) .....	94
図 40: VISTA Details (予測の詳細) .....	94
図 41: Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面 .....	95

☒ 42: Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ .....	96
☒ 43: Review Images (画像のレビュー) 画面 .....	98
☒ 44: Export Images (画像のエクスポート) パネル .....	98
☒ 45: Tools (ツール) メニューの Export (エクスポート) .....	99
☒ 46: Export Images (画像のエクスポート) .....	100
☒ 47: Tools (ツール) メニュー .....	102
☒ 48: Import Images (画像のインポート) ウィンドウ .....	103
☒ 49: Delete Images (画像の削除) .....	105
☒ 50: 削除する画像を選択 .....	106
☒ 51: View DICOM Queue (DICOMキューを表示) .....	108

## 表一覧

表 1: 用語と定義.....	17
表 2: きごう.....	<b>Error! Bookmark not defined.</b>
表 3: きごう.....	<b>Error! Bookmark not defined.</b>
表 4: X線ヘッド制御パネル.....	33
表 5: キーボード操作.....	35
表 6: 部品リスト.....	37
表 7: フットスイッチペダルの機能.....	39
表 8: 調整スケジュール.....	48
表 9: System Configuration (システム設定) ユーザーインターフェイス.....	51
表 10: System ページ.....	53
表 11: [DICOM Send Options] (DICOM送信のオプション) のページ.....	55
表 12: DICOM Send Options (DICOM送信オプション) ページ、ボタンの機能.....	56
表 13: DICOM Print Options (DICOM印刷オプション) ページ、セクション/フィールドの説明.....	58
表 14: DICOM印刷オプションページ、ボタンの機能.....	58
表 15: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、セクションの説明.....	60
表 16: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、ボタンの機能.....	60
表 17: Users (ユーザー) ページ、セクション/フィールドの説明.....	61
表 18: Users (ユーザー) ページ、ボタンの機能.....	61
表 19: Physician Preferences (医師の設定)、セクション/フィールドの説明.....	62
表 20: Physician Preferences (医師の設定)、ボタンの機能.....	62
表 21: Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/ フィールドの説明.....	63
表 22: Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、セクション/ フィールドの説明.....	66
表 23: Physician Preferences (医師の設定)、Image Management (画像管理) タブ、セクション/ フィールドの説明.....	69
表 24: Administrative Settings (管理者設定)、セクションの説明.....	70
表 25: Administrative Settings (管理者設定)、ボタンの機能.....	70
表 26: Main (メイン) 画面のオプション.....	72
表 27: システム設定メニュー.....	73
表 28: Tools (ツール) メニュー.....	74
表 29: X線ヘッド制御パネル.....	76
表 30: Select or Enter Patient (被検者の選択または入力) ウィンドウ、セクション/フィールドの説明.....	78
表 31: Select or Enter Patient (被検者の選択または入力) ウィンドウ、ボタンの機能.....	79
表 32: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面.....	80
表 33: Image Effects (画像の効果) メニュー.....	81
表 34: フィルムストリップの記号.....	82
表 35: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー.....	83
表 36: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能.....	84
表 37: ツールセット.....	86
表 38: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、セクションの説明.....	89

# InSight-FD ミニ C アーム ユーザーガイド

## 目次

---

表 39: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、ボタンの機能.....	89
表 40: [Study for Review]ウィンドウ、セクション/フィールドの説明.....	90
表 41: Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ、ボタンの機能.....	91
表 42: Review (レビュー) 画面、ボタンの機能.....	92
表 43: Detailed Image Viewing (画像の詳細表示) 画面、ボタンの機能.....	95
表 44: Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ、セクションの説明.....	96
表 45: [Update Patient/Study Information] (被検者/検査情報の更新) ウィンドウ、ボタンの機能.....	97
表 46: Export (エクスポート) ウィンドウ、セクションの説明.....	101
表 47: [Export]ウィンドウ、ボタンの機能.....	102
表 48: Import (インポート) ウィンドウ、セクションの説明.....	103
表 49: [Import] (インポート) ウィンドウ、ボタンの機能.....	104
表 50: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、セクションの説明.....	107
表 51: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、ボタンの機能.....	107
表 52: Queue (キュー) ウィンドウ、セクションの説明、ボタンの機能.....	108
表 53: 推奨されるウエス.....	110
表 54: 推奨される化学物質.....	110

## 第1章 適応

InSight®-FDシステムは、整形外科や足病科、救命救急治療、光学解剖画像撮影などにおいて、被検者の透視画像全般を扱う医師をサポートするミニCアーム透視画像診断装置です。

用途：

Rx Only

注意：米国連邦法により、本装置は医師による販売またはその指示下での使用に限定されます。



図1: InSight-FD ミニCアーム

### 1.1 基本性能

InSight-FDシステムは、被検者の四肢の診断、治療、外科処置において安全かつ効率的に透視画像を撮影できる、移動可能なミニCアームシステムです。

### 1.2 保証

契約書に特に明記されている場合を除き、i) Hologic®の製造した装置は、製品を購入した元のお客様の場合に限り、製品出荷日より、または設置が必要な場合は設置日より1年間、発行された製品仕様書に従って十分な機能を果たすことが保証されます（「保証期間」）。ii) デジタル画像X線チューブは24ヶ月間保証されます。X線チューブは最初の12ヶ月間は完全保証の対象となり、続く13～24ヶ月目は減価償却日割り計算で保証されます。iii) 交換部品および再製造された物は保証期間の残りまたは出荷後90日のいずれか長い期間保証されます。iv) 消耗供給品はそれぞれの包装に記載された期限まで、発行された仕様書に従って十分な機能を果たすことが保証されます。v) ライセンス化されているソフトウェアは、発行された仕様書に従って動作することが保証されます。vi) サービスは望ましい作業レベルが供給されることが保証されます。vii) Hologicの製造していない装置は、その製造元経由で保証され、そのようなHologic以外の装置の製造元が許容する範囲内の保証がHologicの顧客に適用されます。Hologicはその製品が中断することなくまたはエラーなしで使用できること、または製品をHologicが認可していない他社製品とともに使用した場合の性能を保証するものではありません。

以上の保証の適用対象外となるのは、(a) Hologicの認可したサービスエンジニア以外の者によって修理、移動、もしくは変更された製品、(b) 物理的（熱的、電気的など）な酷使、圧力、もしくは誤用にさらされた製品、(c) Hologicの関連規定もしくは関連指示に反する方法（Hologicの推奨するソフトウェアアップグレードをお客様が拒否した場合など）で保管、保守、もしくは操作された製品、または(d) Hologic以外による保証を前提とした提供、事前公開版としての提供、もしくは「現状のまま」での提供が指定された製品です。

### 1.3 ユーザープロフィール

InSight平面検出器のユーザーには、透視検査について最低限のトレーニングを受けた、滅菌エリアおよび非滅菌エリアの看護師、放射線技師やその他の技師、医師や外科医が含まれることが想定されています。

#### 1.3.1 教育

- 准学士号もしくは相当の放射線技師免許を最低限とする
- 上限はなし

### 1.3.2 知識

- 最小値  
InSight平面検出器のユーザーマニュアルを読んで理解する  
基本的なコンピュータの知識
- 上限はなし

### 1.3.3 経験

- 最小値  
特別な経験は不要
- 上限はなし

### 1.3.4 許容される障害

- 中等度の近方視力障害、または矯正視力MAR 0.2 (6/10または20/32)
- 平均的な加齢性の短期記憶低下
- 500Hzから2kHzで通常聴覚の60% (40%の欠落)





## 第2章 放射線の安全性

撮影手順が不適切である場合、または放射線の安全性や技術的係数に関する推奨事項の確認を怠った場合、被曝線量の増加につながるおそれがあります。安全のためのあらゆる手順を確認し、放射線被曝を合理的に可能な限り低減し（ALARA）、かつ国家、州、地方自治体のあらゆる規制に準拠する責任は、オペレータが負うものとします。

Hologicでは、操作スタッフ全員が放射線監視装置を着用することを推奨しています。特定の期間の被曝線量を記録するフィルムバッジや、TLD（熱ルミネセンス線量測定）測定器が一般的です。医師は、手への被曝を記録するリングバッジを装着するようにしてください。

### 2.1 全般

被写体をリアルタイムで表示するため、透視装置はX線ビームを連続的に放出しています。

X線源と検出画面との間には、常に一次放射線が存在します。オペレータは絶対にビーム内に手を入れないでください。

一次ビーム内に置かれた被写体を完全に透過しなかったX線は、二次放射線または散乱X線となります。散乱X線は一次ビームよりエネルギーが少なく、近くにある他の物体に吸収されると考えられています。散乱の量は、出力設定、ビームを当てる部位の密度や近さ、そして被曝時間の長さに左右されます。

### 2.2 被曝線量と線量率

被検者の体1キログラムあたりが受ける放射線を、*被曝線量*と呼びます。*線量率*は、単位時間あたりに受ける被曝線量を指す言葉です。

X線源から離れると、被検者やオペレータへの被曝線量を減らすことができます。たとえば、最大出力にした場合の受像部での線量は毎分2.6mGyですが、チューブハウジング出力ポートでの線量は毎分45mGyとなります。これは受像部における線量の17倍にあたります。この高い値を、*最大入射線量率（EER）*と呼びます。

前述した一次ビームのX線と同様に、散乱した放射線は距離の二乗で減衰します。ただし線量率がかかなり低くなるため、散乱は通常mR/hで表します（1mR=0.01mGy）。

InSight-FDシステムの線量および散乱データをご希望の場合は、Hologicまでお問い合わせください。

### 2.3 X線防護

InSight-FDシステムからの散乱放射線は一般的な放射線装置と比べて少ないため、防護用の鉛エプロンや防護手袋の着用義務の有無は、適用される施設の方針によって決まります。また、稼働中の透視装置と同室にいるスタッフに鉛エプロンの着用を義務づけている州、省、国、施設も数多くあります。人体暴露を減らすには、安全な操作方法を厳密に守り、透視回数を最低限にすることが重要です。



## 第3章 X線装置に対する規制

### 3.1 米国連邦規制および州規制

InSight-FDミニCアーム画像診断装置は、米国連邦規制集21CFR 1020.32「Performance Standards for Ionizing Radiation Emitting Products: Fluoroscopic Equipment（電離放射線放出製品の性能基準：透視装置）」に準拠しています。ただし、X線製品には別の州規制が適用される場合があります。場合によっては、州規制当局に設置の事実やオペレータの研修および認証について通知する必要があります。

X線装置の設置と使用に関する州規制に準拠して設置を行った旨を、管轄州の放射線管理当局に報告することはユーザーの責任となります。

InSight-FDミニCアーム画像診断装置は、21CFRサブチャプタJに準拠しています。

InSight-FDミニCアーム画像診断装置は、21CFR 1020.32 (g)で指定されている線源皮膚間距離（SSD）では禁止されるが21CFR 1020.32 (g) (2)では許可されるような、特殊な外科的応用での使用を想定されています。SSDは最短で10cmです。

### 3.2 準拠

InSight-FDミニCアーム画像診断装置は、IEC 60601-1の要件に準拠しています。

InSight-FDミニCアーム画像診断装置は、以下のIEC規格に準拠しています。

IEC/EN 60601-1:2005 + A1:2012	IEC 60601-2-28:2010	IEC 60601-2-54:2009 + A1: 2015
IEC 60601-1-2:2014	IEC 60601-1-3:2008 + A1: 2013	CAN/CSA-C22.2 No.60601- 1:08

この規格では、InSight-FDミニCアーム画像診断装置はクラス1、タイプBに分類されます。



## 第4章 EMI

本装置は、IEC 60601-1-2で指定されている電磁環境に対応した設計であるため、同規格に準拠する他の装置と同じ環境に設置しても支障なく使用できます。InSight-FDミニCアーム画像診断装置を使用している環境に、電磁要件非準拠の装置を設置すると、InSight-FDミニCアーム画像診断装置または非準拠装置が不具合を起こすか異常な動作をするおそれがあります。該当分野のサービスエンジニアにご相談ください。



## 第5章 サイバーセキュリティ

Hologicでは、コンピュータおよびネットワークセキュリティの現状を継続的に確認し、セキュリティ上の問題が発生する可能性がないか調べています。Hologicは、必要に応じて製品のアップデートを提供しています。

サイバーセキュリティ関連の情報は、次の文書を参照してください。

- MAN-00734 InSight Cybersecurity Best Practices (InSightサイバーセキュリティベストプラクティス)
- MAN-00664 Insight Cyber-Security Product Report (InSightサイバーセキュリティ製品レポート)

これらの文書は、Hologic, Inc.のウェブサイトから入手できます。

<http://www.hologic.com/support/fluoroscan-mini-c-arm>





## 第6章 アクセサリ

本装置には、安全かつ信頼性のある操作に欠かせないハードウェアおよびソフトウェア用アクセサリをご用意しています。追加アクセサリは、オプションとなっている操作で使用できます。Hologicが認可していないアクセサリを、本装置に使用しないでください。



## 第7章 マニュアルの入手方法

ユーザーガイドやサービスマニュアルのPDFファイルは、サポートページ ([www.Hologic.com](http://www.Hologic.com)) から入手できます。

PDFファイルを表示するには、Adobe Acrobat Readerバージョン5.0以降が必要です。

マニュアルの印刷版をご希望の場合、Hologicカスタマーサポートまでご連絡ください。

フリーダイヤル（米国）：+1.800.321.4659

Eメール：SkeletalHealth.Support@hologic.com

ヨーロッパ、南米、またはアジアのサポートについては、お客様の地域の販売業者または取扱店にお問い合わせください。






## 第8章 用語と定義

表1: 用語と定義

用語	定義
AC	交流
AKR	空気カーマ、InSightシステムにmGy/minの単位で表示されるX線線量
ALARA	As Low As Reasonably Achievable（合理的に可能な限り低減） 電離放射線への暴露を現実的に可能な範囲で低く抑えるためのあらゆる合理的な努力
C-ECHO	PACSとのネットワーク接続を確認。
CMOS	金属酸化物半導体
DAP	面積線量積（cGy* cm <sup>2</sup> またはmGY*cm <sup>2</sup> ）
DICOM	医療におけるデジタル画像と通信
EER	最大入射線量率
PACS	画像アーカイブおよび通信システム（PACS） デジタル医療画像の通信およびアーカイブ処理するコンピュータおよびネットワークシステム。
ROI	関心領域
SMPTE	The Society of Motion Picture & Television Engineers（米国映画テレビ技術者協会）制作の、動画表示の品質を確認するためのテストパターン
SSD	ソリッドステートドライブ メモリに集積回路アセンブリを使用してデータを永続的に保存する、ソリッドステートのストレージデバイス
TLD	熱ルミネセンス線量測定。長期にわたる累計X線被爆を計測するための方法。
ノイズ	被検者の体の一部ではない明暗部分（スペckル）
ラストイメージ ホールド	X線を発生させると、黄色のX線ランプが点灯し、モニターにリアルタイムで透視画像が表示されます。 X線を止めると、表示されていた画像がラストイメージホールド像（LIH）となり、黄色のX線ランプが消灯します。 この画像は、ユーザーがフィルムストリップ内の別の画像に切り替えるか、次のX線照射を開始するまで、表示され続けます。
注釈	画像上で関心領域を示すグラフィックまたはテキストによるマーク。

表 2: 記号

記号	定義
	「注記」は、推奨される行動や追加情報を示します。
	「注意」は、処理の失敗、装置の損傷、データの消失、ソフトウェアアプリケーション内のファイルの破損、または軽いけがを防止するために従う必要のある手順です。
	「警告」は、死亡や重篤なけがを防止するために従う必要のある手順です。

## 第9章 InSight-FDのシステムラベル

### 9.1 システムメインラベル

システムメインラベルは、ベースキャビネットの背面にあります。\*

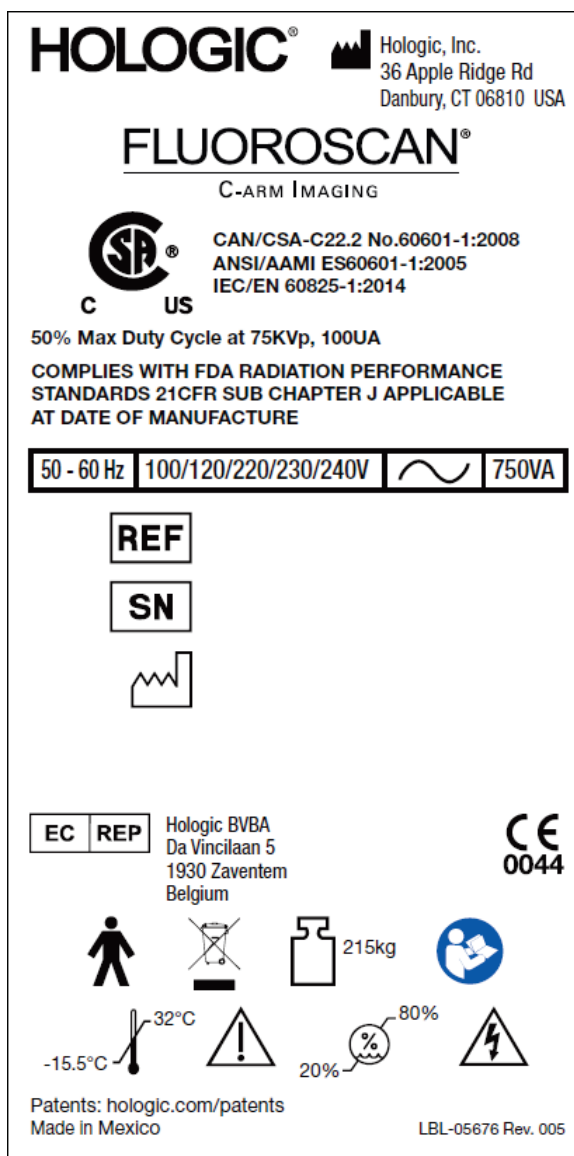


図2: システムメインラベル

\*ラベル情報の詳細は、MAN-06961に記載されています。

## 9.2 X線システム警告ラベル

X線システム警告ラベルは、ベースキャビネットの左側、DVDプレイヤーの反対側にあります。

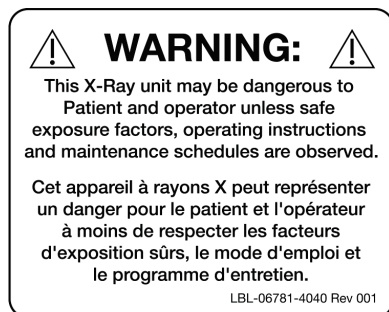


図3: X線システム警告

## 9.3 感電警告ラベル

感電に関する警告ラベルは、高電圧コンポーネントを覆っているパネルの固定具の近くにあります。



図4: 感電警告



## 9.4 押し移動禁止警告ラベル

押し移動禁止警告ラベルは、ベースキャビネットの背面にあります。



図5: 押し移動禁止警告ラベル

\*キャストがロックされた状態または障害物がある状態かつCアームを伸ばした状態でシステムを押すことは、避けてください。

## 9.5 ISO 7010-M002ラベル



図6: ISO 7010-M002 ラベル

ISO 7010-M002ラベルについては、取扱説明書または冊子を参照してください。



### 注記

ME機器\*については「取扱説明書を参照」。

「ME機器とは、以下を指します。

1. 特定の主電源への接続が1箇所のみであり、
2. 製造業者が以下の用法を想定している。
  - a. 被検者の診断、治療、監視
  - b. 疾病、けが、障害の補正や緩和

かつ、接触面、または被検者とのエネルギー交換もしくは被検者とのエネルギー交換の検出機能を有し…」。

上記の定義は、European Medical Device Directive（欧州医療機器指令）における医用電子機器の定義と一致しています。

## 9.6 視野

視野は、高圧電力源の下側の盛り上がった四角に表示されています。視野選択レバーが大きな四角を指している場合、全視野が選択されています。視野選択レバーが小さな四角を指している場合、視野の一部が選択されています。













図7: 視野

### 9.6.1 記号

表3: 記号

	CSA 認証機器		注意
	警告：感電		放熱フィルタ
	X線源アセンブリ		交流
	タイプBの感電防止策		保護接地（アース）
	接地（アース）		等電位性

表3: 記号

	ヒューズ		静電気敏感性デバイス
	USBコネクタ		湿度制限
	温度制限		コンピュータスタンバイスイッチ
	コンピュータ電源オンスイッチ		製造元
	製造日		ECの正式代表
	廃電気・電子製品に関する欧州連合 (EU) 指令2002/96/ECに準拠して廃棄されるべき機器。		シリアル番号
	カタログ番号		機器とその安全作業負荷の合計重量
	取扱説明書を参照		押し付け禁止
	CEマーク		



## 第10章 安全上の問題

以下のセクションに、さまざまな安全上の問題をまとめました。各問題について、原因と行動指針を記載しています。

### 10.1 放射線の安全性

原因



**警告：**  
本システムは電離放射線を発生させるため、本マニュアルの安全上および操作上の指示に従わない場合、被検者やオペレータに危険が及ぶおそれがあります。

行動指針

本システムは散乱放射線レベルを低く抑えられるますが、システム操作時には防護用衣類を着用し、放射線安全措施を確認することを推奨します。

オペレータは、X線ビームの経路に手や体の一部を置かないようにしてください。X線照射の際は、最高の画像品質を得るため、また被爆を軽減させるため、被写体をCMOS検出器に近づけてください。累計被爆時間が5分を超えるごとに、アラーム音が鳴ります。

### 10.2 電気の安全性

原因



**警告：**  
システム内の電気回路は、重篤なけがや死亡の原因となることがあります。本システムは高電圧で稼働しています。高電圧となるのは次の部分です。  
**X線管：75,000ボルト。**

行動指針

電気回路や高電圧に起因する危険を軽減するため、本システムは安全カバーを取り付けた設計となっています。絶対にカバーを外したり、カバーが外れている状態でシステムを稼働させたりしないでください。カバーが1つでも外れた場合、システムを使用する前にサービスを依頼してください。



**警告：**  
本システムの主電源を切断するには、壁の電源コードを抜くしかありません。

### 10.3 バランス崩れの危険

#### 原因

CアームのCMOS検出器に荷重をかけすぎると、システムのバランスが崩れるおそれがあります。CMOS検出器が支えられる重さは、フレックスアームやCアームの位置、さらにその他の要因によって大きく異なります。フレックスアームを伸ばし、システムの左右どちらから大きく移動させた場合に、バランス崩れのリスクは最大になります。

#### 行動指針

CアームCMOS検出器に荷重をかける場合、装置が不安定にならないよう注意してください。



---

#### 注記

CMOS検出器に下肢の全重量を直接かけないようにしてください。

---

キャスターがロックされた状態や障害物がある状態で、システムのCアームやマストを押しシステムを左右に動かさないでください。

### 10.4 画像機能の喪失

#### 原因

外科用器具による検出器の損傷（検出器表面とドリルとの接触など）

#### 行動指針



---

#### 注意

CアームCMOS検出器を作業台として使用しないでください。

---

### 10.5 X線管の無許可での改造

#### 原因



---

#### 警告：

絶対にX線管周囲のハウジングを取り外したり、X線管を改造したりしないでください。

---

X線源およびアセンブリは、製造工場出荷および設置の時点で21CFR 1020.30-32の要件を満たしています。無許可でシステムを改造した場合、死傷のおそれや装置の深刻な損傷のおそれがあり、サービス契約が無効になることもあります。

#### 行動指針

X線管は改造しないでください。X線管の交換をご希望の場合は、Hologic担当者までご連絡ください。

## 10.6 電気火災

### 原因

あらゆる発生源からの火災。

### 行動指針

近くで火災が発生した場合、危険でなければシステムの電源を切り、電源コードを壁のコンセントから抜いてください。

燃焼中のシステムには触れないでください。その場から離れてください。電気火災用の消火器以外は使わないでください。

## 10.7 爆発のおそれ

### 原因

本システムは、爆発性雰囲気（酸素や亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔薬がある場所など）内での使用を想定されていません。

### 行動指針

部屋に可燃性ガスが充満するなどの異常な状況が発生した場合、ガスを装置に接触させないための措置を取ってください。

以下のガイドラインに従ってください。

- システムの電源のオン/オフを切り替えたり、システムをAC電源コンセントから抜いたりしないでください。
- 他の電動装置は一切使用しないでください。
- ただちに避難してください。新鮮な空気と入れ替えてください。
- 電動の自動ドアや自動窓の使用は避けてください。
- 現地の消防署に連絡してください。

## 10.8 フットスイッチの安全性

### 原因

物を落としたり、システムの車輪でひいたり、落としたりするとフットスイッチが損傷するおそれがあります。

### 行動指針

こうした危険を防ぐため、操作中や移動中には常にフットスイッチに注意を払うようにしてください。

### 10.9 衝突のおそれ

#### 原因

動かし方が不適切な場合や、車輪のブレーキを正しく使用していない場合、システムが思いがけない動きをするおそれがあります。輸送中、可動式のフレックスアームを定位位置にロックしていない場合、Cアームが飛び出して被検者や医療スタッフが負傷するおそれがあります。

#### 行動指針



---

**警告：**  
傾斜面でシステムを移動させる場合には、注意してください。

---

10度を超える傾斜面でシステムを移動させないでください。水平面であれば、1人でシステムを動かすことができます。

操作を始める前に、必ず車輪のブレーキをかけてください。5度を超える傾斜面にシステムを放置しないでください。Cアームの位置を変更した場合は、必ずフレックスアームをロックしてください。

### 10.10 清掃の安全性

#### 原因

ほぼすべての液体は、電子機器にこぼすと自然に電気伝導体になります。

#### 行動指針

本システムは耐水仕様ではありません。システムに液体をこぼした場合、ただちにシステムの電源を切ってください。液体が完全に乾くまで、システムの電源は入れないでください。システムに洗剤をかけたり、吹きつけたりしないでください。InSight-FDの本体、フレックスアーム、Cアームの表面は、柔らかい布か使い捨てのリントフリーのティッシュを、水、イソプロパノール、またはメタノールで湿らせて拭きます。表面をこすらず、軽く拭きます。

消毒の詳細については、[110](#)ページの「[推奨される消毒剤](#)」セクションを参照してください。



## 10.11 装置の安全性

原因



**警告 :**  
本システムに未承認の機器を接続すると、負傷するおそれがあります。

一部の機器は、InSight-FDシステムと併用できることが確認されています。そのようなデバイスや互換性のある機器を使用してください。

行動指針

本マニュアルに記載されている以外の機器を本システムに接続しないでください。本システムのサービスに関する訓練を受けたスタッフ以外は、装置内部に接続する機器の取り付けを行わないでください。

## 10.12 電気手術機器

原因

本システムは、放電に対して保護されています。ただし、電気手術機器が本システムに直接放電した場合、システムの運用に悪影響が出る可能性があります。また、火花間隙タイプの機器が発生させるエネルギー量に対しては、システムを保護しきれない場合があります。

行動指針

強い電気手術サージでシステムに不具合が生じた場合、次のようにしてください。

1. システムの電源を切ります。
2. 5秒待ちます。
3. システムの電源を入れます。

システムを2回リセットしても不具合が解消されない場合は、サービスを依頼してください。

## 10.13 つまずき

原因



**警告 :**  
ケーブルやコードにつまづく恐れがあります。

行動指針

コードは邪魔にならないよう安全な位置に置いてください。使用していないときは、コードをコード管理プレートにしっかり巻き付けてください。

### 10.14 指はさみ注意

原因



**警告：**

モニターアームを動かすと、指はさみの危険があります。モニターアームがフレックスアーム、Cアーム、ハンドルと接触するおそれがあります。

---

行動指針

モニターアームの位置を調整する際には、指や手を安全な位置に置いてください。ジョイント部分やシステムの回転部分に手や指を置かないでください。

### 10.15 電源コードの破損

原因

破損している電源コードは感電の危険があります。

行動指針

InSight-FDミニCアームの電源コードが良好な状態であることを確認してください。本体の電源を抜くときは、プラグの差し込み部分をしっかり持って軽く引き抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。

### 10.16 視界不良

原因



**警告：**

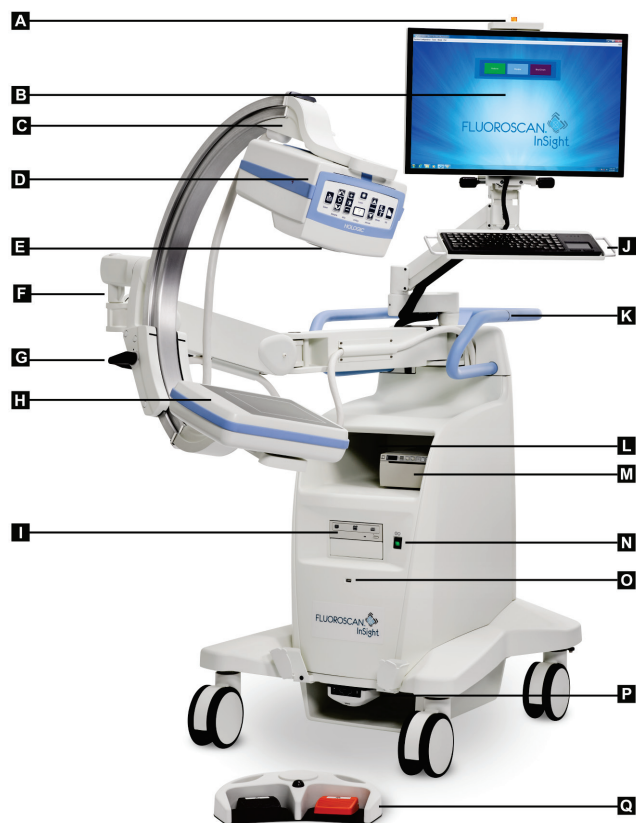
本システムが術野の視界を遮るおそれがあります。

---

行動指針

撮影後は、本システムを術野外に移動させることを推奨します。

## 第11章 システム構成部品



A	X線オンランプ	J	ポインティングデバイス内蔵キーボード
B	タッチスクリーンモニター	K	Cアーム固定具はめこみ位置ライン
C	Cアーム固定具	L	画像プリンタ棚
D	X線ヘッド	M	プリンタ
E	視準器スイッチ	N	コンピュータ電源オン/スタンバイスイッチ
F	フレックスアーム	O	USBポート
G	Cアーム	P	前方収納棚、ワイヤレスフットスイッチブラケット
H	CMOS検出器	Q	ワイヤレスフットスイッチ
I	光学ドライブ (CD/DVD RWレコーダ)		



## 第12章 操作ボタンおよびインジケータ

### 12.1 X線ヘッド制御パネル

表4: X線ヘッド制御パネル









記号	ラベル	機能
	保存する	選択した画像またはCineループを被検者のレコードに保存します。 保存されている画像の枚数やCineループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
	Rotate (回転)	画像を時計回りまたは反時計回りに回転させます。1回押すと10度回転します。長押しすると、連続で回転します。
	B/C (輝度/ コントラスト)	画像の輝度とコントラストを調整できます。
	X線	X線写真を撮影します。スイッチを1回押すと、X線が作動します。 モニターの上にある黄色のインジケータランプは、X線が発生していることを示します。 黄色のインジケータランプが消えている間、モニターは最後にX線撮影された画像を表示します。この画像はラストイメージホールド像と呼ばれます。
	レーザー	位置決めレーザーをオンにします <sup>1)</sup> 。
	Noise Suppression (ノイズ抑制)	画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。 <a href="#">65ページ</a> の「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定) - Image Processing (画像の処理)</a> 」セクションの「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a> 、 <a href="#">Image Processing (画像の処理)</a> 」タブ、 <a href="#">セクションフィールドの説明</a> 」の表を参照してください。

表 4: X線ヘッド制御パネル

記号	ラベル	機能
	kV/mA	<p>選択したモードに基づいて技術的係数を増減させます。63ページの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定) - Image Acquisition (画像の取り込み)</a>」セクションの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a>、<a href="#">Image Processing (画像の処理)</a>」タブ、セクションフィールドの説明」の表を参照してください。</p> <hr/> <p><b>注記</b> 出力増ボタンと出力減ボタンを同時に押すと、システムが [Auto Power] (オートパワー) モードに戻ります。</p>
	モード	<p>Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択) は次の順に切り替わります。</p> <p><b>Continuous (連続)</b><sup>2</sup> - ユーザーがX線を作動させると、黄色のX線ランプが点灯し、モニターにリアルタイムの連続X線画像が表示されます。</p> <p>ユーザーがフットペダルかチューブヘッドスイッチを放してX線を停止すると、黄色のX線ランプが消灯し、ラストイメージホールド像 (X線停止時に画面に表示されていた画像) が表示されます。</p> <p><b>Snapshot (スナップショット)</b><sup>2</sup> - X線を作動させると、装置がラストイメージホールド像のみを取り込みます。ラストイメージホールド像に使用されるX線線量は、X線モードの技術的係数とノイズ抑制の設定に左右されます。ユーザーがX線を止めると、照射は終了します。</p> <p><b>Cine Record (Cineレコード)</b> - 取り込んだリアルタイム透視画像を、Cineループに記録します。</p>

<sup>1</sup> [Laser] (レーザー) ボタンを10秒長押しすると、位置決めレーザーがオンのままになります。システムの電源を切ると、このオプションはリセットされます。

<sup>2</sup> [Continuous] (連続) モードや[Snapshot] (スナップショット) モードは無効にすることもできます。62ページの「[Physician Preferences \(医師の設定\)](#)」セクションを参照してください。

## 12.2 キーボード操作

キーボードはモニターマウントに直接搭載されており、使用中にモニターを回転させたり調整したりしやすいよう取っ手がついています。

表5: キーボード操作

















アイコン	ファンクションキー	機能
	F1	[Help] (ヘルプ) ウィンドウを表示します。
	F2	[Image Acquisition] (画像の取り込み) セッション中に[Patient Information] (被検者情報) ウィンドウを表示します。 [Review] (レビュー) セッション中に[Select Study for Review] (レビュー対象の選択) ウィンドウを表示します。
	F3	画像の左右を反転させます。
	F4	画像を時計回りに10度回転させます。
	Shiftキー+F4	画像を反時計回りに10度回転させます。
	F5	連動がオンになっている場合はkV/mAを低くし、オフになっている場合はkVを低くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	Shiftキー+F5	連動がオフになっている場合、mAを低くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	F6	連動がオンになっている場合はkV/mAを高くし、オフになっている場合はkVを高くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	Shiftキー+F6	連動がオフになっている場合、mAを高くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	F7	透視アラームタイマーをリセットします。
	F8	現在の画像を被検者の記録に保存します。
	F9	現在の画像をローカルプリンタで印刷します。
	F10	記録したCineループの再生のオン/オフを切り替えます。

表5: キーボード操作

アイコン	ファンクションキー	機能
	F11	医師のデフォルト設定を復元します。
	Shiftキー+F11	システムをAuto Power（オートパワー）モードに戻します。
	F12	<p>画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。</p> <p>[ノイズ抑制]設定は、[OFF]（オフ）、[Low]（低）、[Medium]（中）、[High]（高）、[Auto]（自動）、および[Ultra]（ウルトラ）です。</p> <p>[ノイズ抑制]を[OFF]（オフ）または[Low]（低）に設定すると、動きによる画像のぶれは少なくなりますが、画像に大幅なノイズが見られるようになります（スペckルなど）。</p> <p>[ノイズ抑制]の設定を高め（[Medium]（中）、[High]（高）、[Ultra]（ウルトラ））にすると、表示画像に対して平均化されるフレーム数が増えるため、スペckルが減少します。[High]（高）および[Ultra]（ウルトラ）のノイズ抑制設定は、被写体の動きがなく、鮮明な画像が求められる場合に使用してください。</p> <p>[ノイズ抑制]を[Auto]（自動）に設定すると、イメージングアルゴリズムが検出した動きにより、ノイズ抑制の程度を[Low]（低）、[Medium]（中）、[High]（高）に切り替えます。</p>



## 第13章 InSight-FD 20cm SSDコーンの取り付け方法

InSight™-FD 20cm SSDコーンは、次のようにして取り付けます。

- SSDコーンの向きを合わせます。
- コーンをカバーにはめこみます。

本手順の想定所要時間は5分です。

表6: 部品リスト

部品番号	説明
ASY-10630	キット、SSD 20cm、InSight-FD
FAB-08816	コーン、SSD、FD
MME-01738	差し込みプラグ、内径8mm、頭部12mm

### 13.1 取り付け手順

1. InSightのアプリケーションを終了します。
2. システムの電源をオフにします。
3. AC電源コードを抜き、主電源を切断します。
4. 下図のようにCアームを回転させて、線源部分に手が届きやすい位置にします。



図8: Cアームの回転

5. 下図のように、コーンの溝をカバーの穴に合わせます。

6. 指でコーン底面の出っ張りを調整します。チューブヘッドカバーの下にある3つの穴にコーンを差し込みます。



図9: コーンの向きの調整

7. SSDコーンをカチッと音がするまではめます。



**注記**

SSDコーン不使用时に穴にフタをするための差し込みプラグ (MME-01738) もあります。

---



8. Cアームを使用位置まで回転させます。
9. AC電源コードを差し込みます。
10. システムの電源を入れます。
11. InSightアプリケーションにログインします。
12. システムが正常に稼働しているかどうか確認します。





## 第14章 フットスイッチ機能

フットスイッチを使うと、複数のソフトウェア機能に簡単にアクセスできます。



図10: ワイヤレスフットスイッチ

表7: フットスイッチペダルの機能

Ref	アイコン	ペダル	機能
1		保存/タグ付け	画像を保存するか、タグ付けします。
2		MegaView™ 画像または印刷	ユーザー設定： <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Perform]（実行）モードで、標準表示と全画面表示（MegaView™画像）を切り替えられます。</li> <li>• 画像を印刷します。</li> </ul>
3		X線	X線撮影をします。
4		レシーバ	Bluetoothレシーバ



### 注記

フットスイッチ機能を使用するには、レシーバをオンにする必要があります。

各フットスイッチ機能は、[Physician's Preferences] (医師の設定) ウィンドウのオプションで有効にする必要があります。

- フットスイッチを使った参照のタグ付け
- 印刷フットスイッチを使った全画面表示の切り替え



## 14.1 X線画像の取り込み

1. X線ペダル (3) を踏むと、画像を取り込みます。
2. もう一度踏むと、次の画像を取り込みます。

## 14.2 MegaView画像の表示

[Perform] (実行) モードで「MegaView画像または印刷」 (2) を踏むと、「標準表示」と「全画面表示」の切り替えができます。

[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面または[Enhanced View] (拡張ビュー) 画面でMegaview画像をダブルクリックすると、画像を拡大できます。

1. [Review] (レビュー) を選択すると、スキャンした画像が開きます。
2. 画像をダブルクリックすると、画像がMegaviewモードで開きます。

## 14.3 画像のタグ付け

取り込んだ画像を参照画像としてマークするには、「保存/タグ付け」 (1) を1回踏みます。

## 14.4 画像の保存

1. 画像を保存し、参照の選択を解除するには、「保存/タグ付け」 (1) を2回踏みます。
2. 画像を保存し、参照としてマークするには、「保存/タグ付け」 (1) を3回踏みます。

## 14.5 画像の印刷



### 注記

プリンタの電源ボタンは別にあります。システムから画像を印刷する前に、必ずプリンタの電源を入れてください。

画像を印刷するには、「MegaView画像または印刷」 (2) を長踏みします。

## 14.6 フットスイッチの保管

使用していないときは、下図に示すように、フットスイッチをシステム前面にあるブラケット内に収納してください。



図11: フットスイッチの保管



### 警告：

フットスイッチと電源コードを、つまずかないように置いてください。



## 第15章 システムの使用



### 注記

InSight-FDのオペレータは、本システムを操作する前に「放射線の安全性」セクションをお読みください。

### 15.1 システムの移動



#### 警告：

システムを移動させる前に、フレックスアームとCアームを必ず収納場所にロックして、バランスが崩れるのを防止してください。

1. システムの電源がオフになっていることを確認します。[49](#)ページの「[システムをシャットダウンする](#)」セクションを参照してください。
2. 電源コードを抜き、キャビネット背面にあるコードガイドに巻き付けます。
3. 下図のように、フットスイッチをフットスイッチブラケット内に置きます。



図12: ブラケットに置かれたフットスイッチ

4. マウントの切り欠きを利用して、下図のようにモニターを前方下向きに倒します。

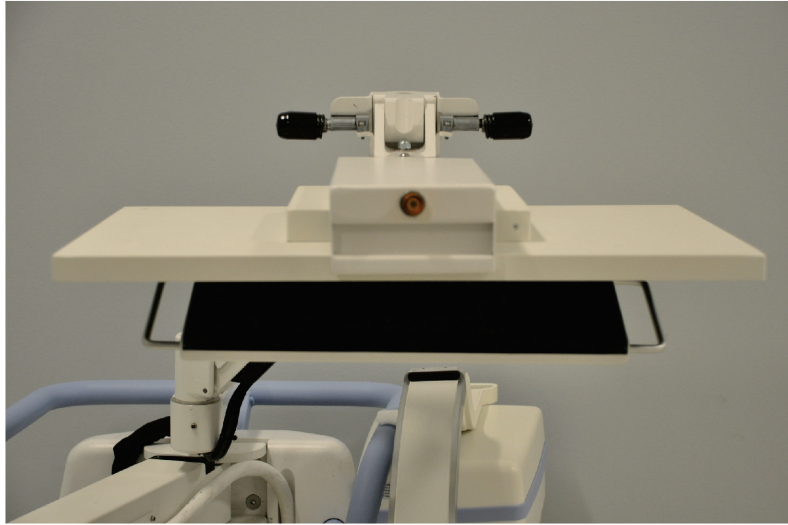


図13: 下向きにしたキーボード

5. Cアームを下方向に押し、Cアームクランプをハンドルと同じ高さにします。
6. アームを装置の右側に曲げます。
7. Cアームクランプの位置をハンドルの黒い表示線の前に合わせ、移動中に検出器が損傷しないようにします。
8. 下図のように、Cアームをクランプにしっかり押し込み、フレックスアームとCアームを固定します。

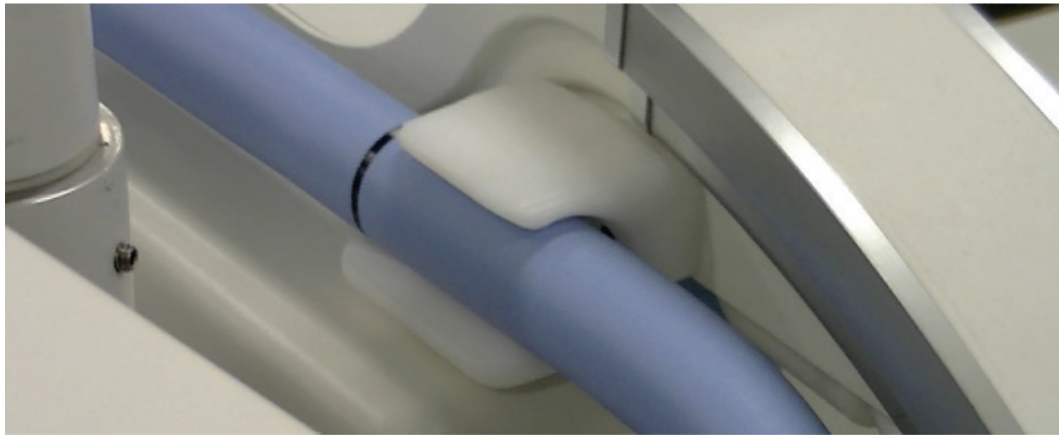
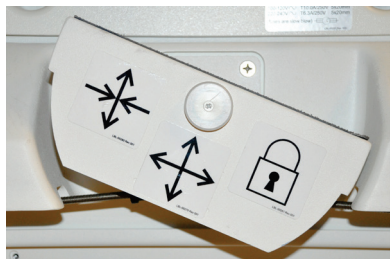


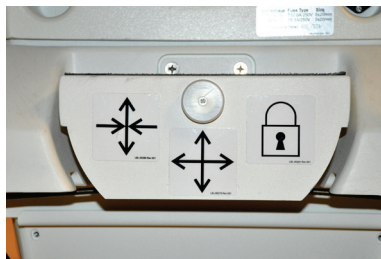
図14: 移動位置のCアーム

9. システムが動かないよう、後輪をロックします。後輪の回転角度をロックするとシステムの横滑りを防ぐことができます。あるいは、ロック解除すると横移動が可能になります。

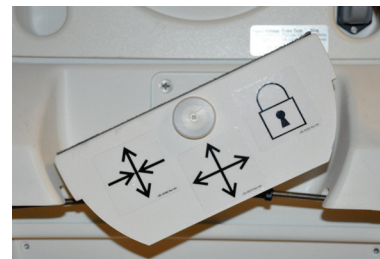




後輪ロック



前後にのみ移動可能



全方向に移動可能



図 15: キャスター後輪

## 15.2 Cアームの調整



**注意**

システムのアームを動かすと、システム本体や周辺の機器とぶつかることがあります。ぶつかると、システムや他の機器が破損するおそれがあります。

フレックスアームのロックを反時計回りに回して緩めてから、高さを調整します。

Cアームの位置を変えるには、次のようにします。

1. Cアームのロックを回して緩めます。
2. アームを希望する位置まで動かします。
3. アームをロックします。

ロックレバーを「ロック」と「ロック解除」の間に合わせると、アームの固定度を自由に調整できます。



**注意**



キャスターがロックされた状態や障害物がある状態では、システムのCアームやマストを押してシステムを左右に動かそうとしないでください。



図16: Cアームの調整

### 15.3 滅菌Cアームドレープ

手術室でInSight-FDミニCアームを使用する前に、Cアームに滅菌ドレープを装着してください。ドレープの小さなラベルに、X線ヘッドとCMOS検出器へのドレープの装着方法が表示されています。



#### 注記

使用後は、滅菌Cアームドレープを感染性廃棄物容器に適切に廃棄してください。



#### 注意

本システムを移動させることで、滅菌エリアに汚染が発生する場合があります。これはCアームにドレープを装着している場合にも起こることがあります。



#### 注意

装着時または使用中にドレープが破れた場合、破れたドレープは廃棄して新しい滅菌ドレープをシステムに装着してください。

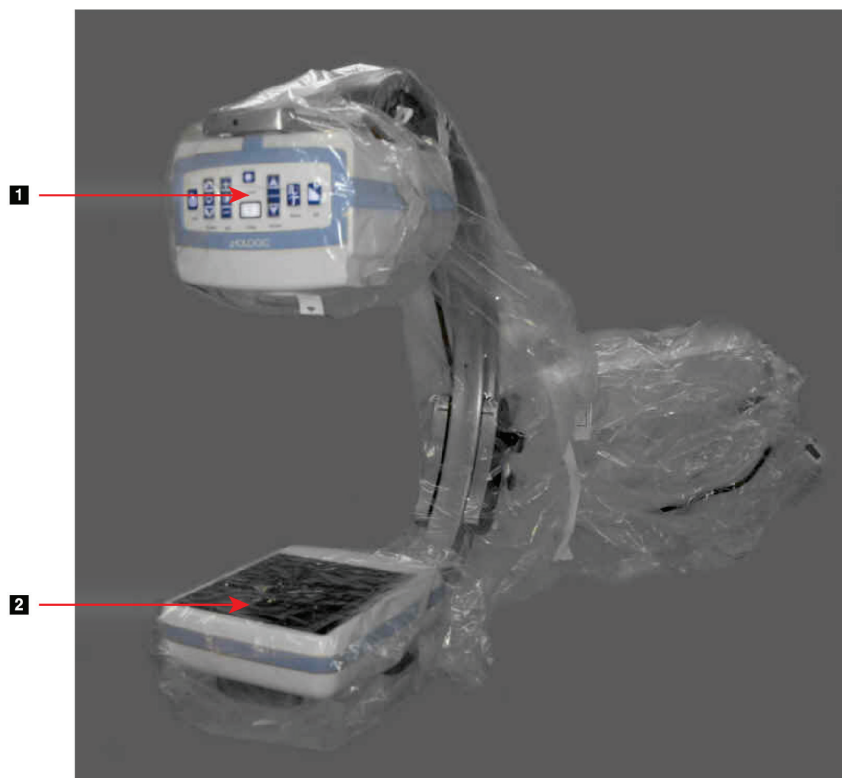


図 17: 滅菌Cアームドレープ

1. X線ヘッド
2. 検出器

## 15.4 システムを起動する



### 警告：

InSight-FDシステムは、米国、日本、カナダモデルでは標準の115V/60HzのAC電源、その他の輸出モデルでは230V/60HzのAC電源、および240V/50HzのAC電源で稼働します。

- システムは、必ず適切に接地されている接地極付きコンセントに接続してください。
- 絶対に、電源コードの3本目（接地）のピンを切って接地極のない電源コンセントに接続しないでください。接地極付きコンセントを2Pに変換するアダプタは、絶対に使用しないでください。

本システムは室温でご使用ください。

電源コードは、標準の接地極付き単相3線式コンセントに接続してください。特殊な専用コンセントは不要です。

システムの電源を入れるには、[**Computer On/Standby**]（コンピュータ電源オン/スタンバイ）スイッチを押します。InSight-FDが、ログインを促すプロンプトを出します。

システムの電源を2週間以上切っていた場合、X線源を保護して寿命を延長するために、次の線源調整手順を行ってください。

表 8: 調整スケジュール

手順	kV値	mA	時間 (分)
1	40	0.05	2分
2	50	0.10	2分
3	60	0.10	2分
4	70	0.10	3分
5	75	0.10	3分



### 注意

X線を発生させる前に、システムを4分間ウォームアップさせてください。ウォームアップを適切に行わないと、システムが損傷するおそれがあります。

## 15.5 システムをシャットダウンする



### 注意

シャットダウンする前に、必ず画像を保存してください。

アプリケーションを閉じてシステムを保管場所に戻すには、次のようにします。

- **InSight-FDの[Main]**（メイン）画面にある**[Shut Down]**（シャットダウン）ボタンをクリックします。
- 電源コードを抜く前に、**InSight-FDの[Main]**（メイン）画面の**[Exit]**（終了）メニューで**[Exit]**（終了）を選択します。



## 第16章 アプリケーションの設定

### 16.1 System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイス

System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイスは、複数ページのタブ選択形式のウィンドウで構成されています。各タブには設定データのページが表示されます。

ウィンドウの下にある4つのボタンは、選択中のページとは独立して以下のように表示されます。

表9: System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイス

ボタン	機能
OK	すべての[System Configuration]（システム設定）ページのデータを保存し、ウィンドウを閉じます。
Apply (適用する)	現在選択中の[System Configuration]（システム設定）ページのデータを保存します。
Cancel (キャンセル)	データを保存せずにウィンドウを閉じます。
Help (ヘルプ)	選択したページのヘルプを表示します。

## 16.2 システム

[Main] (メイン) 画面の[System Configuration] (システム設定) メニューから、[System] (システム) ページにアクセスできます。下の2つの図を参照してください。

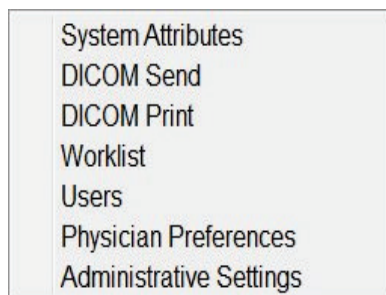


図 18: システム設定メニュー

The System Configuration dialog box is shown with the following settings:

- System Configuration** (Title)
- Tabs: System | DICOM Send Options | Worklist Configuration | Users | Physician Preferences | Administrative Settings
- Fluoriscan Insight Software**
  - Serial Number: 10-12345
  - Software: Fluoriscan InSight Version 6.1
- Status**
  - Date of Last System Recover: N/A
  - Touch Screen: ON
  - Audit Mode: OFF
  - Current User: Hologic
  - Number of Active Users: 1
  - Image Storage (number of images)
    - Remaining: 10000
    - Currently Stored: 0
  - Cine loop storage (minutes of recording)
    - Remaining: 40
    - Currently Stored: 0
- Organization Name**: Hologic, Inc
- Default Physician's Name**: [Empty]
- Selected Language**: English
- Query on Delete**:  Display warning message on deletion of images
- Brightness / Contrast Adjustment**: Seconds to display dialog: 4
- DICOM Application Information**
  - AE Title: [Empty]
  - Station Name: [Empty]
  - IP Address: 10.0.2.15

Buttons: OK, Cancel, Apply, Help

図 19: システム



表 10: System ページ

セクション/フィールド	説明
<b>InSight-FD</b> Software (ソフトウェア) Serial Number (シリアル番号) Software (ソフトウェア)	InSight-FDシステムのシリアル番号です。 インストールされているソフトウェアとバージョンを表示するドロップ ダウンリストです。
<b>Status (状況)</b>  Date of Last System Recover (前回のシステム復旧の日付)  Touch Screen (タッチ画面)  Audit Mode (監査モード)  Number of Active Users (アクティブユーザー数)  Image Storage (number of images) (画像のストレージ (画像数))	現在の設定ステータスを表示します。  アプリケーション設定および設定データがバックアップメディアから 復旧された日付です。  [Enabled] (有効) / [Disabled] (無効) を切り替えます。  [ON]/[OFF]を切り替えます。  システムにログインできるアクティブな登録ユーザー数です。  システムに保存可能な画像の最大数*および現在保存されている数 です。
<b>Cine Loop Storage (minutes of recording) (Cineループの ストレージ (録画の分数))</b>	システムに保存可能な録画の最大分数および現在保存されている録画分 数です。
<b>Organization Name (組織名)</b>	管理者は名前が入力が可能です。
<b>Default Physician's Name (デフォルトの医師名)</b>	アプリケーションが使用するデフォルトの医師を選択します。
<b>Selected Language (選択中の言語)</b>	アプリケーションが使用する言語を選択します。
<b>Selected DAP Units (選択中のDAP単位)</b>	アプリケーションで使用するDAP単位を選択します (cGy*cm <sup>2</sup> または mGy*cm <sup>2</sup> ) 。
<b>Query on Delete (削除時の質問)</b>	管理者は画像を削除するときの警告メッセージの表示を選択できます。
<b>Brightness/Contrast Adjustment (輝度/コントラストの調整)</b>	[Brightness/Contrast Adjustment] (輝度/コントラストの調整) ダイアロ グが表示される時間数を設定します (1秒~60秒) 。
<b>DICOM Application Information (DICOM アプリケーション情報)</b>	アプリケーションの[AE Title] (AEタイトル) および[Station Name] (ステーション名) です。IP Address (IPアドレス) は、アプリケー ションが動作しているシステムに割り当てられているネットワークアド レスを表示します。  [Station Name] (ステーション名) により、複数のシステムが同じAEタ イトルを使用することができます。
*画像の最大数は標準的な解像度の画像で示しています。高解像度の画像の場合は多くの保存スペースが必要です。	

### 16.3 DICOM送信のオプション

[DICOM Send Options] (DICOM送信のオプション) メニューには、**[Main]** (メイン) 画面の**[System Configuration]** (システム設定) メニューからアクセスできます。  
[52](#)ページのセクション「[システム](#)」のシステム設定メニューを参照してください。

イーサネットケーブルをシステムに接続した後、以下のステップを実行します。

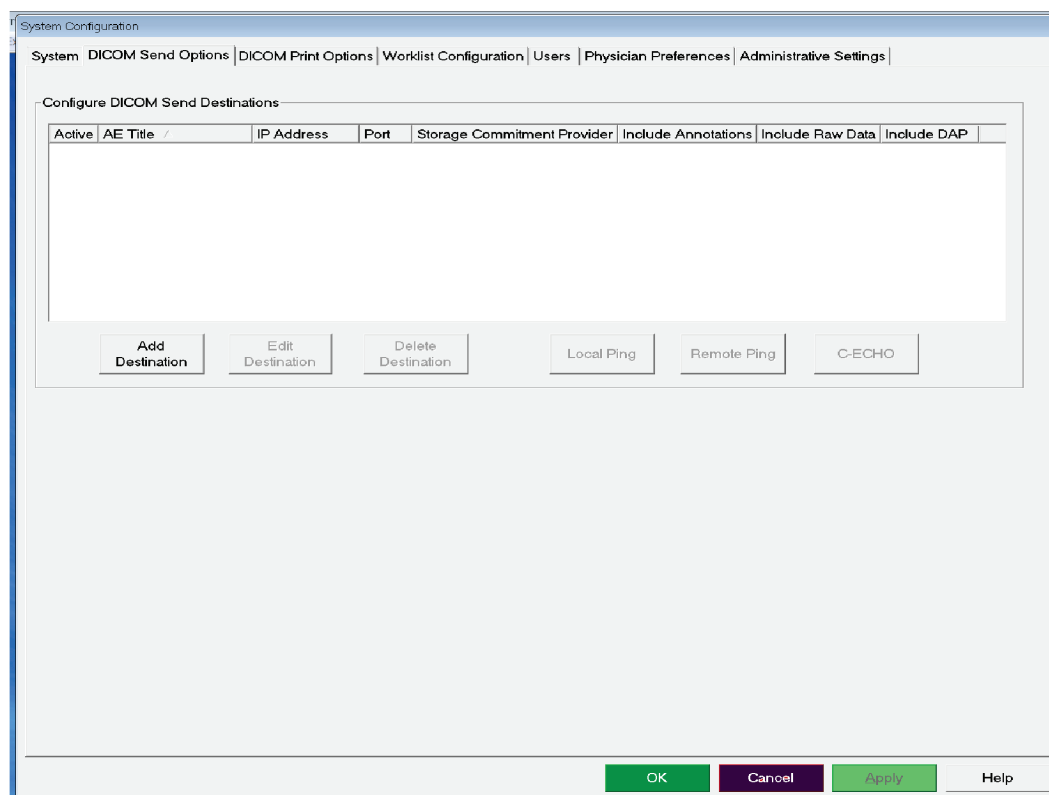


図 20: DICOM送信のオプション

表 11: [DICOM Send Options] (DICOM送信のオプション) のページ

セクション/フィールド	説明
Configure DICOM Send Destinations (DICOM送信先の設定)	システム内に設定されたDICOM送信先の選択リストおよび6つのファンクションボタンです。 [Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、宛先が使用可能になります。
Add/Edit Destination (宛先の追加/編集)	DICOM送信先を識別するための入力/編集フィールド、3つのチェックボックス、2つのファンクションボタンです。
AE Title (AEタイトル)	宛先のアプリケーションエンティティのタイトルです。
Host Name or IP Address (ホスト名またはIPアドレス)	宛先名またはIPアドレスです。
Port (ポート)	宛先のポート番号です。
Use as Storage Commitment Provider (ストレージコミットメントプロバイダとして利用)	チェックを入れると、送信した情報の保存を宛先に委託します。 通常のシャットダウン中、[DICOM Commit] (DICOMコミット) キューエントリの経過日数が7日間を超えている場合には、以下のメッセージが表示されます。 <b>経過日数が7日間を超えるエントリがDICOM保存委託キューに含まれています。削除してもよろしいですか？</b>
Include Raw Data (ローデータを含む)	チェックを入れると、宛先に送信される検査にローデータが含まれます。
Include DAP Report (DAPレポートを含める)	チェックを入れると、選択されている検査に対応するDAPレポートも宛先に送信されます。
Include Radiation Dose Structured Report (放射線量構造化レポートを含める)	チェックを入れると、選択されている検査に対応する放射線量構造化レポートも宛先に送信されます。
Include Annotations (注釈を含む)	チェックを入れると、エクスポートされる画像に注釈が含まれます。含める方法の選択肢は次のとおりです。 Embedded (埋め込み) –注釈はビットマップ画像に埋め込まれます。 As Overlay (オーバーレイ) –注釈はDICOMのオーバーレイとして含まれます。 As annotation files (注釈ファイル) –注釈は別のファイルとして含まれます。

表 12: DICOM Send Options (DICOM送信オプション) ページ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Add Destination</b> (接続先の追加)	DICOM送信先をシステムに追加します。
<b>Edit Destination</b> (接続先の編集)	選択した宛先情報を編集します。
<b>Delete Destination</b> (接続先の削除)	選択した宛先をシステムから削除します。
<b>Local Ping</b> (ローカルPing)	ローカルネットワークとの接続を確認します。
<b>Remote Ping</b> (リモートPing)	選択した宛先とのネットワーク接続を確認します。
<b>C-ECHO</b>	PACSとのネットワーク接続を確認。
<b>OK</b>	新規または更新された情報を含む選択リストを更新し、宛先の[Active] (アクティブ) チェックボックスを確認します。
<b>Cancel</b> (キャンセル)	すべての編集を無視して、[Add Edit Destination] (宛先の追加) /[Edit Destination] (宛先の編集) セクションを非表示にします。

### 16.3.1 DICOM Print Options (DICOM印刷オプション)

[Main] (メイン) 画面の[System Configuration] (システム設定) メニューから利用可能です。52ページのセクション「[システム](#)」のシステム設定メニューを参照してください。

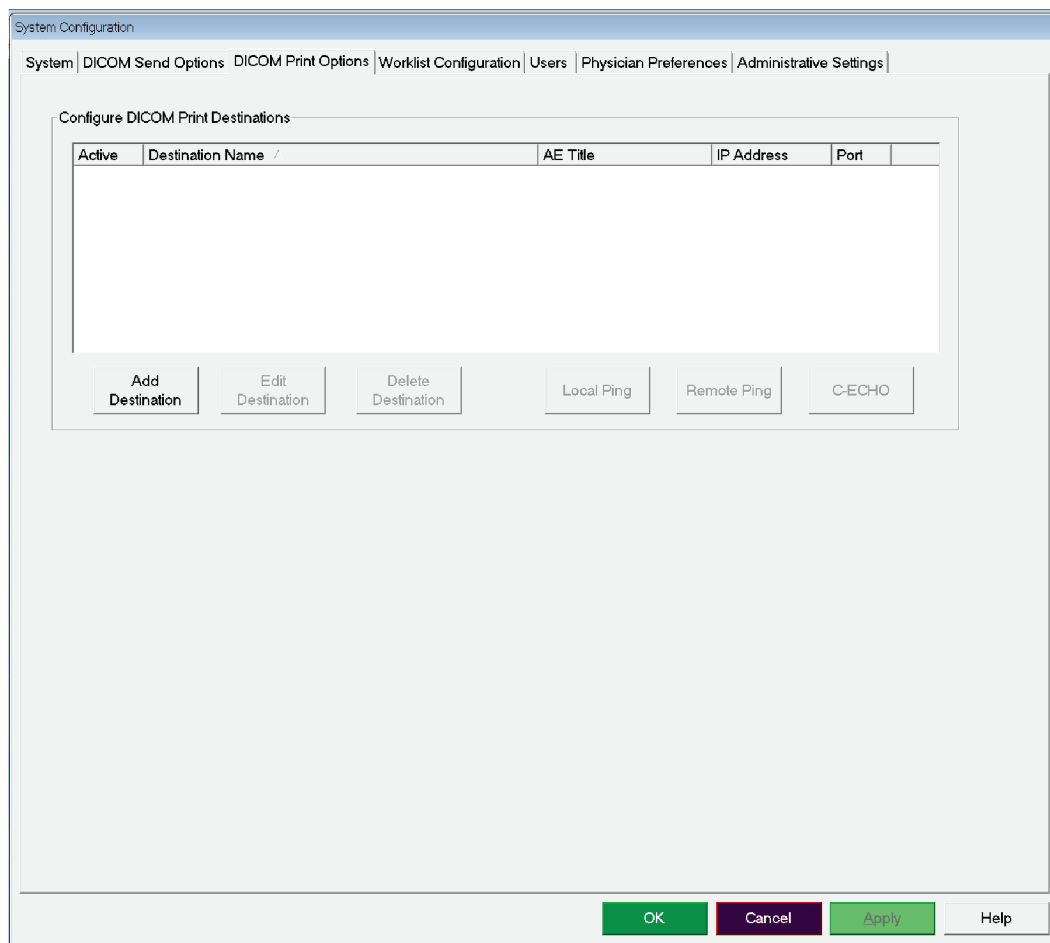


図 21: DICOM Print Options (DICOM印刷オプション)

# InSight-FD ミニ C アーム ユーザーガイド

## 第 16 章 : アプリケーションの設定

表 13: DICOM Print Options (DICOM印刷オプション) ページ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Destinations (DICOM印刷先の設定)</b>	システムで設定されたDICOM印刷先の選択リストおよび6つのファンクションボタンです。[Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、宛先が使用可能になります。
<b>Add/Edit Destination (宛先の追加/編集)</b>	DICOM印刷先を識別するための入力/編集フィールド、印刷パラメータの入力および選択セクション、2つのファンクションボタンです。
<b>AE Title (AEタイトル)</b>	宛先のアプリケーションエンティティのタイトルです。
<b>Host Name or IP Address (ホスト名またはIPアドレス)</b>	宛先名またはIPアドレスです。
<b>Port (ポート)</b>	宛先のポート番号です。
<b>Destination Name (接続先名)</b>	宛先名 (1つの宛先を複数の方法で設定することが可能)。
<b>印刷パラメータ</b>	
<b>Number of Copies (部数)</b>	印刷する部数を入力します。
<b>Image Display Format (画像の表示フォーマット)</b>	ドロップダウンリストから (行および列) を選択します。
<b>Orientation (印刷の向き)</b>	画像レイアウトを選択します (ポートレートまたはランドスケープ)。
<b>Film Size (フィルムサイズ)</b>	ドロップダウンリストから選択します。
<b>Medium Type (媒体タイプ)</b>	ドロップダウンリストから選択します。
<b>Decimate/Crop Behavior (縮小/クロップ)</b>	ドロップダウンリストから選択します。

表 14: DICOM印刷オプションページ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Add Destination (接続先の追加)</b>	DICOM印刷先をシステムに追加します。
<b>Edit Destination (接続先の編集)</b>	選択した宛先情報を編集します。
<b>Delete Destination (接続先の削除)</b>	選択した宛先をシステムから削除します。
<b>Local Ping (ローカルPing)</b>	ローカルネットワークとの接続を確認します。
<b>Remote Ping (リモートPing)</b>	選択した宛先とのネットワーク接続を確認します。
<b>C-ECHO</b>	PACSとのネットワーク接続を確認。
<b>OK</b>	新規または更新された情報を含む選択リストを更新し、宛先の[Active] (アクティブ) チェックボックスを確認します。
<b>Cancel (キャンセル)</b>	すべての編集を無視して、[Add Edit Destination] (宛先の追加) /[Edit Destination] (宛先の編集) セクションを非表示にします。

## 16.4 ワークリスト設定

[Main] (メイン) 画面の[System Configuration] (システム設定) メニューから利用可能です。52 ページのセクション「システム」のシステム設定メニューを参照してください。

The screenshot shows the 'System Configuration' dialog box with the 'Worklist Configuration' tab selected. The dialog is divided into several sections:

- Worklist Provider:** Includes input fields for 'AE Title', 'Host Name or IP Address', and 'Port' (set to 0). Below these are buttons for 'Local Ping', 'Remote Ping', and 'C-ECHO'.
- Performed Procedure Step:** Contains a checkbox for 'Use Performed Procedure Step'. Below it is a 'Provider' section with a checkbox for 'Use Worklist Provider Data' and input fields for 'AE Title', 'Host Name or IP Address', and 'Port' (set to 0). It also has 'Local Ping', 'Remote Ping', and 'C-ECHO' buttons.
- Worklist Sets Modality:** A checkbox is checked. Below it is a 'Map Worklist Fields' button.
- Query Parameters:** Includes a 'Days' dropdown (60) with a 'Back' button, a 'Forward' dropdown (2), a 'Modality' dropdown (RF), an 'AE Title' input field, and a 'Maximum Hits Per Query' dropdown (60).
- Auto Query Interval:** Features radio buttons for 'Every Day At' (with Hr and Min dropdowns), 'Every' (with Hours dropdown), and 'Never'.
- Query Retry Parameters:** Includes a 'Query Timeout' dropdown (30) with 'Min' label, a 'Retry Number' dropdown (3) with 'Times' label, and a 'Retry Interval' dropdown (20) with 'Min' label.

At the bottom of the dialog are buttons for 'OK', 'Cancel', 'Apply', and 'Help'.

図 22: ワークリスト設定

表 15: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、セクションの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Worklist Provider</b> (ワークリストのプロバイダ)	プロバイダの[AE Title] (AEタイトル)、[Host Name or IP Address] (ホスト名またはIPアドレス)、および[Port] (ポート) の入力フィールドによって、ワークリストにアクセスするシステムを識別します。
<b>Use Performed Procedure Step</b> (実行手順ステップを使用)	チェックを入れると、必要に応じてDICOMモダリティ実行手順ステップを実施します。
<b>Provider</b> (プロバイダ)	[Worklist Provider] (ワークリストプロバイダ) セクションで識別されたシステム以外のシステムにアクセスできます。 [Use Worklist Provider Data] (ワークリストプロバイダのデータを使用) を選択すると、[Worklist Provider] (ワークリストプロバイダ) セクションの対応するフィールドの内容と同じデータが自動的に[AE Title] (AEタイトル)、[Host Name or IP Address] (ホスト名またはIPアドレス)、および[Port] (ポート) フィールドに反映されます。解除すると、ユーザーがフィールドに入力することができます。
<b>Query Parameters</b> (検索パラメータ)	以下を識別する入力フィールドを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>要求元のシステム (AEタイトル)</li> <li>要求中のワークリストのタイプ (モダリティ)</li> <li>検索範囲となる日数</li> <li>ワークリストに含める被検者の調査計画の最大数</li> </ul>
<b>Auto Query Interval</b> (自動検索間隔)	自動検索を実行するかどうか、またその頻度を指定します。
<b>Query Retry Parameters</b> (検索の再試行パラメータ)	指定の時間後に検索がタイムアウトになった場合の指定 ([Query Timeout] (検索タイムアウト) チェックボックスと[Min] (分) セクション)、およびリトライ回数と時間間隔を指定します。
<b>Worklist sets Modality</b> (ワークリストによりモダリティをセット)	選択すると、ワークリストによりモダリティがセットされます。

表 16: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Map Worklist Fields</b> (ワークリストフィールドのマッピング)	[Map Worklist Keys] (ワークリスト キーのマッピング) ウィンドウを表示します。管理者はInSight-FDのデータフィールドをワークリストプロバイダのデータフィールドにマッピングできます。
<b>Local Ping</b> (ローカルPing)	ローカルネットワークとの接続を確認し、結果を表示します。
<b>Remote Ping</b> (リモートPing)	ワークリストのプロバイダまたはプロバイダシステムとのネットワーク通信を確認します。
<b>C-ECHO</b>	PACSとのネットワーク接続を確認します。



### 16.4.1 Users (ユーザー)

[Main] (メイン) 画面の[System Configuration] (システム設定) メニューから利用可能です。52ページのセクション「[システム](#)」のシステム設定メニューを参照してください。

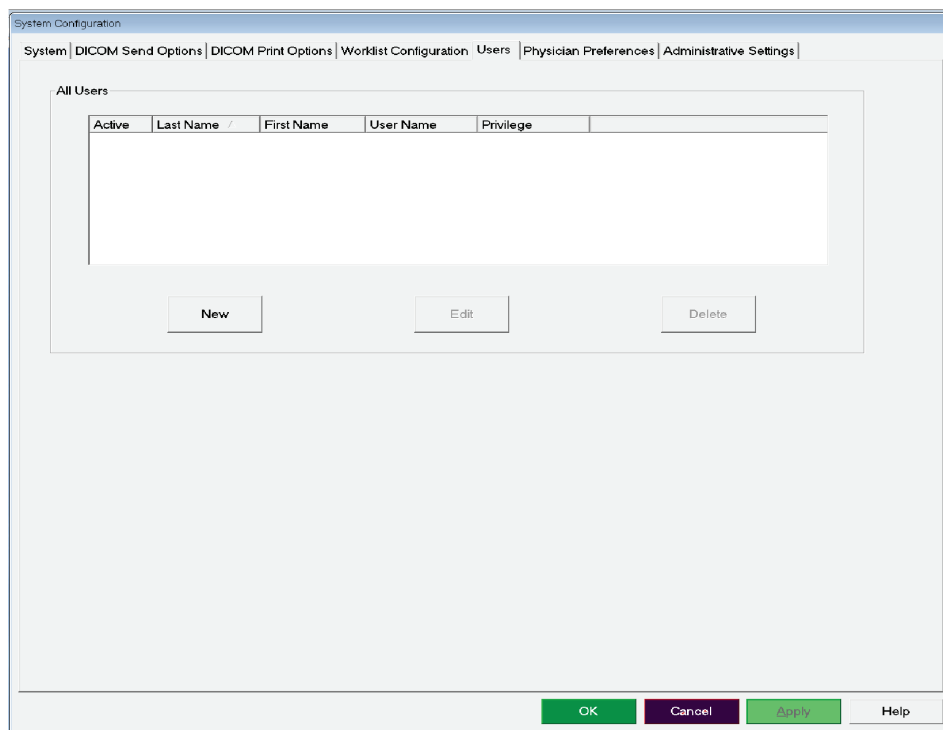


図 23: Users (ユーザー)

表 17: Users (ユーザー) ページ、セクションフィールドの説明

セクション/フィールド	説明
All Users (すべてのユーザー)	登録されているシステムユーザーの選択リストを表示します。 [Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、ユーザーがシステムにログインできるようになります。
Add/Edit User (ユーザーの追加/編集)	ユーザーの実際の名前、ログインユーザー名、ログインパスワード、および権限に関する管理者用の入力/編集フィールドです。

表 18: Users (ユーザー) ページ、ボタンの機能

ボタン	機能
New (新規)	新規ユーザーをシステムに追加します。
Edit (編集)	選択したユーザー情報を編集します。
Delete (削除)	選択したユーザーをシステムから削除します。
OK	ユーザーリストを更新します。
Cancel (キャンセル)	すべての編集を無視して、[Add/Edit User] (ユーザーの追加/編集) セクションを削除します。

## 16.5 Physician Preferences (医師の設定)

[Main] (メイン) 画面の[System Configuration] (システム設定) メニューから利用可能です。52ページのセクション「[システム](#)」のシステム設定メニューを参照してください。

表 19: Physician Preferences (医師の設定)、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Set System Defaults or Physician Defaults</b> (システムのデフォルトまたは医師のデフォルトを設定)	往診医師に使用するシステムのデフォルトを選択します。 医師のデフォルトを選択して、選択した医師のデフォルトを設定します。
<b>Select Physician to set details for</b> (詳細を設定する医師を選択)	システムに登録されているすべての医師の選択リスト、医師名の入力フィールド、2つのボタン ([Add Physician] (医師の追加) および [Delete Physician] (医師の削除))。

表 20: Physician Preferences (医師の設定)、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Add Physician</b> (医師の追加)	医師の名前およびデフォルトの設定をシステムに追加します。
<b>Delete Physician</b> (医師の削除)	選択した医師をシステムから削除します。
<b>Reset Defaults</b> (デフォルトにリセット)	システムのデフォルトを編集している場合、すべての設定を工場出荷のデフォルト値にリセットします。また、医師の設定を編集している場合は、システムのデフォルト値にリセットします。システムのデフォルト値を保存していない場合、すべての設定は工場出荷のデフォルト値にリセットされます。
<b>Save</b> (保存する)	システムのデフォルト値の設定、または選択した医師の設定を保存します。

## 16.6 Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

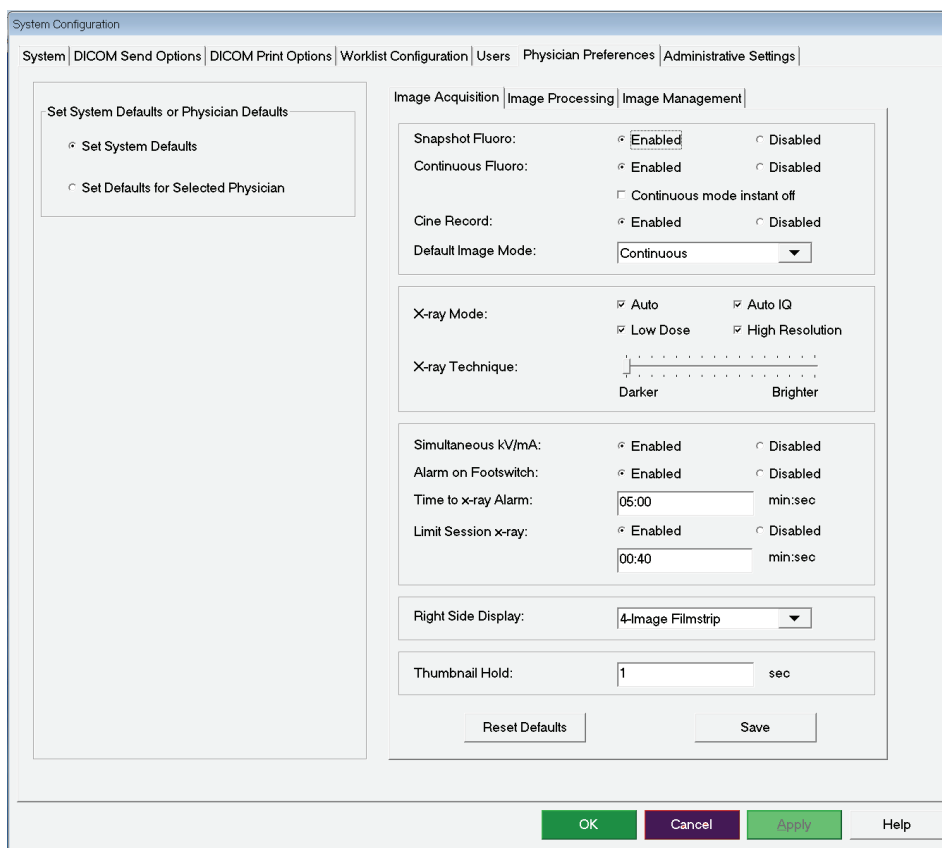


図 24: Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み)

表 21: Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Snapshot Fluoro</b> (透視画像のスナップショット)	スナップショット画像の取り込みモードを有効化/無効化します。
<b>Continuous Fluoro</b> (連続透視画像)	連続画像の取り込みモードを有効化/無効化します。
<b>Default Image Mode</b> (デフォルトの画像モード)	[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のデフォルトの画像モードの設定を選択します。

# InSight-FD ミニ C アーム ユーザーガイド

## 第 16 章：アプリケーションの設定

表 21: Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>X-ray Mode (X線モード)</b>	有効にするX線モードを選択します。[Auto] (自動)、[Auto IQ] (自動IQ)、[Low Dose] (低線量)、および[High Resolution] (高解像度) から選択します。[Auto] (自動)、[Auto IQ] (自動IQ)、[Low Dose] (低線量) のいずれか1つを必ず有効化します。もしくは、システムにより[Auto] (自動) モードが有効化されます。システムのデフォルトでは、すべてのモードが有効化されます。
<b>X-ray Technique (X線検査)</b>	[Darker] (暗い) から[Brighter] (明るい) まで15段階の設定が選択可能なスライダーコントロールにより、自動露出制御における望ましいkVpとmAを選択します。この値を[Darker] (暗い) /[Brighter] (明るい) に変更すると、自動露出制御機構によって選択されるkVpとmAが少しずつ増減し、結果として対応する被検者への線量が増減します。
<b>Simultaneous kV/mA (kV/mAの連動)</b>	有効にすると、X線のパワーを手動で調整する場合、次の線量曲線に、kVとmAがペアで一緒に増減します。無効にすると、kVとmAを単独で調整することが可能です。
<b>Alarm on Footswitch (フットスイッチのアラーム)</b>	X線フットスイッチを押すか放したときに鳴るアラームの設定を有効化または無効化します。
<b>Time to X-ray Alarm (X線アラームの時間)</b>	累積のX線照射時間に基づいて、アラームの鳴る時間を設定します。最大値は5分です。
<b>Limit Session Xray (セッションのX線の上限)</b>	累積のX線照射時間の上限*を設定します。設定した上限の30秒前から (最大値は10分)、警告が画面の右上端に表示されます。セッションを延長しない場合、セッションを延長する、または終了するか警告されます。
<b>Right Side Display (右側の表示)</b>	[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のデフォルトのフィルムストリップ/ ツールエリアの設定を選択します。
<b>Thumbnail Hold (サムネイル保持)</b>	画像の取り込み終了後、サムネイル画像を表示する時間を決定します。
*X線照射時間が上限に達した場合、X線は無効になります。続行するには、セッションを終了してから再開する必要があります。	

## 16.7 Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

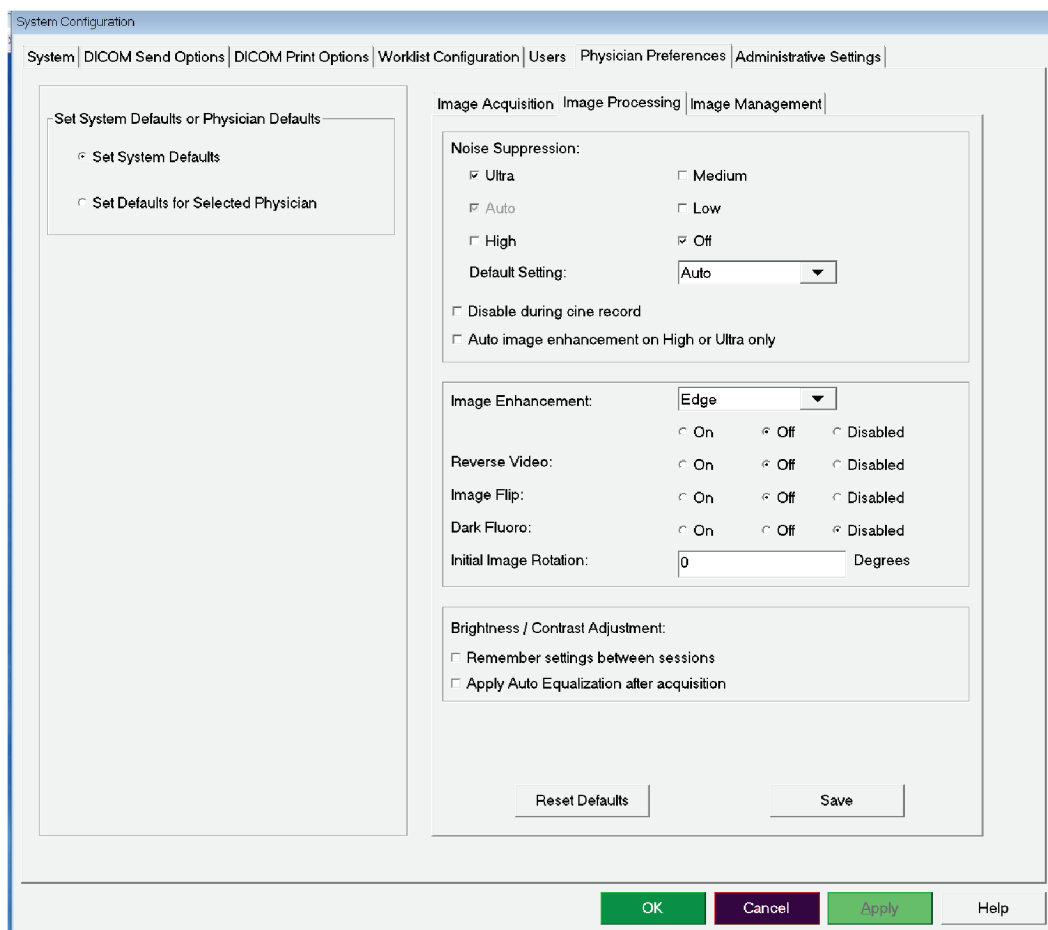


図 25: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理)

表22: Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、  
セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
Noise Suppression (ノイズ抑制)	<p>画像の取り込み時に使用する[Noise Suppression] (ノイズ抑制) の設定を切り替えます。</p> <p>ノイズ抑制の設定には[Off] (オフ)、[Low] (低)、[Medium] (中)、[High] (高)、[Auto] (自動)、および[Ultra] (ウルトラ) があります。</p> <p>ノイズ抑制を[OFF] (オフ) または[Low] (低) に設定すると、動きによる画像のぶれは少なくなりますが、画像に激しいノイズが発生します (スペckルなど)。</p> <p>ノイズ抑制の設定を高め ([Medium] (中)、[High] (高)、[Ultra] (ウルトラ)) にすると、表示画像に対して平均化されるフレーム数が増えるため、スペckルが減少します。[High] (高) および[Ultra] (ウルトラ) のノイズ抑制設定は、被写体の動きがなく、鮮明な画像が求められる場合に使用してください。</p> <p>ノイズ抑制を[Auto] (自動) に設定すると、イメージングアルゴリズムにより検出された動きに応じて、ノイズ抑制の程度が[Low] (低)、[Medium] (中)、[High] (高) の間で切り替わります。</p> <p>[Disable during cine record] (Cine録画中は無効) — 選択すると、Cine録画中にノイズ抑制が無効になります。</p> <p>[Auto edge enhancement on High or Ultra only] ([High] (高) と[Ultra] (ウルトラ) のみ自動エッジ強調) — チェックを入れると、ノイズ抑制が[High] (高) または[Ultra] (ウルトラ) の場合にのみ画像のエンハンス処理が行われます。</p> <p>[Default Setting] (デフォルト設定) — 画像の取り込みセッションのデフォルトのノイズ抑制を定義します。ドロップダウンリストから[Ultra] (ウルトラ)、[Auto] (自動)、[High] (高)、[Medium] (中)、[Low] (低)、または[Off] (オフ) を選択します。</p>
Image Enhancement (画像のエンハンス処理)	<p>または、ドロップダウンから[Edge] (エッジ) もしくは[Sharpen] (シャープ) を選択します。エッジを強調をすると、画像の骨と軟組織の間の可視性が向上します。シャープを強調すると、細部の可視性が向上します。</p> <p>[On]/[Off]または[Disabled] (無効) は、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の[image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>
Reverse Video (ビデオの白黒反転)	<p>[On]/[Off]または[Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の[image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>
Image Flip (画像の反転)	<p>[On]/[Off]または[Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の[image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>
Dark Fluoro (黒色透視画像)	<p>[On]/[Off]または[Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の[image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>

表22: Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、  
セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Initial Image Rotation</b> (画像のデフォルト回転)	画像を取り込み中に、画像を自動的に回転するための角度を数字で入力します。マイナスの数を入力すると反時計回りの回転になります。
<b>Brightness/Contrast Adjustment</b> (輝度/コントラストの調整)	[Remember settings between sessions] (セッション間の設定を記憶) — 選択すると、[ <b>Brightness/Contrast</b> ] (輝度/コントラスト) の設定が、その後の画像でも保持されます。 [Apply <b>Auto Equalization</b> after acquisition] (取り込み後に自動平均化を適用) — 選択すると、 <b>自動平均化</b> を画像に適用してコントラストを最適化します。

## 16.8 Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

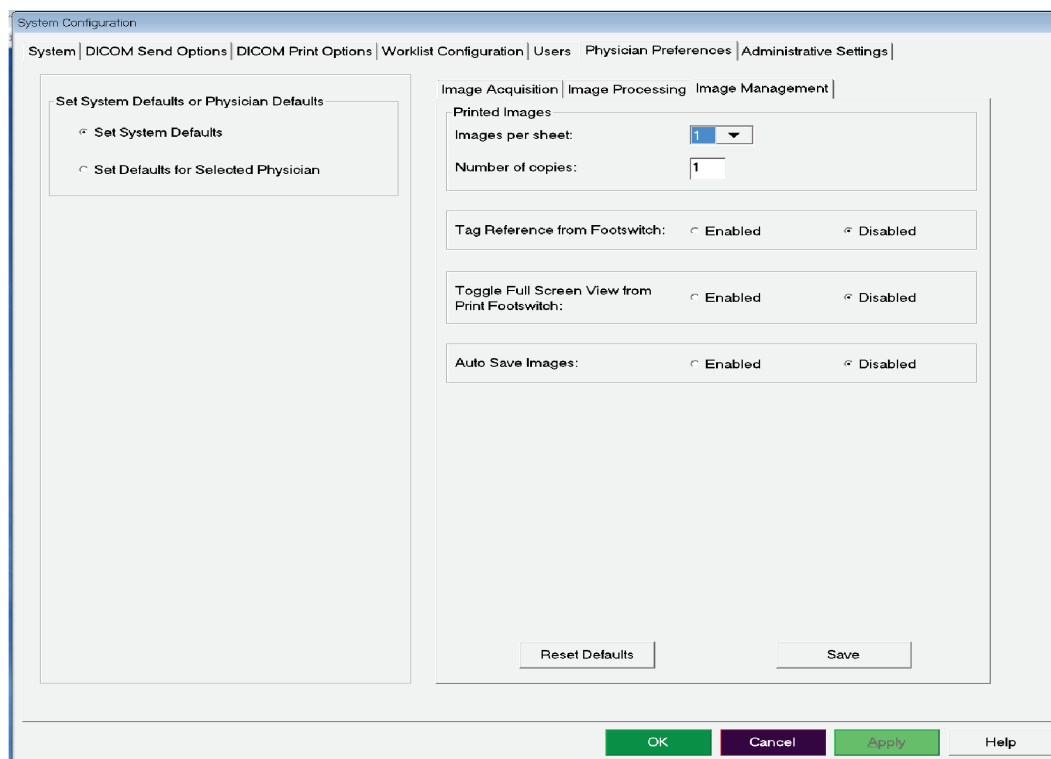


図 26: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理)



表 23: Physician Preferences (医師の設定)、Image Management (画像管理) タブ、  
セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Printed Images (印刷画像)</b>	シート別に画像の枚数と、印刷する部数を選択します。
Tag Reference from Footswitch (フットスイッチ から参照タグを付ける)	有効化した場合： <p><b>[Save footswitch]</b> (フットスイッチの保存) を1回押すと、画像が参照画像としてタグ付けされます。</p> <p><b>[Save]</b> (保存) を2回押すと、画像が保存され参照タグが削除されます。</p> <p><b>[Save]</b> (保存) を3回押すと、画像が再び参照画像としてタグ付けされます。</p> <p>無効化した場合：  <p><b>[Save footswitch]</b> (フットスイッチの保存) を1回押すと画像が保存されます (参照画像としてのタグ付けは行われません)。</p> </p>
<b>Autosave Images (画像の自動保存)</b>	セッション中にスキャンした画像を自動的に保存するには、 <b>[Enabled]</b> (有効化) を選択して <b>[Autosave Image]</b> (画像の自動保存) を有効化します。*
* <b>[Alarm on Footswitch]</b> (フットスイッチのアラーム) が有効になっている場合、X線オンの音が鳴った後、画像が保存されたことを示す音が鳴ります。	

## 16.9 Administrative Settings（管理者設定）ページ

[Main]（メイン）画面の[System Configuration]（システム設定）メニューから利用可能です。

表 24: Administrative Settings（管理者設定）、セクションの説明

セクション/フィールド	説明
Log Files（ログファイル）	すべてのログファイルの選択リストです。
Set Level of Detail（詳細レベルの設定）	管理者は詳細な[System Error]（システムエラー）ログのレベルを、[Error Only]（エラーのみ）または[Error and Operations]（エラーおよび操作）に設定することができます。
Audit Mode（監査モード）	管理者は[ON]または[OFF]に設定できます。
Enable Touch Screen（タッチ画面を有効化）	管理者は有効化または無効化することができます。
Automatic Image Deletion（自動画像削除）	以下についての限度値で[Delete]（削除）を選択します。 削除のプロンプトが表示される画像数、および削除される画像数の設定 および 削除のプロンプトが表示されるCineの時間（分単位）、および削除されるCineの時間（分単位）の設定。 削除する前に、希望する画像数（つまり分単位でのCineの時間）の削除を実現するために必要な検査数が、システムにより表示されます。
Last System Backup（前回のシステムバックアップ）	前回のシステム設定とキャリブレーションのバックアップを表示します。 前回のバックアップが__日より古い場合に警告が表示されます。 選択すると、前回のバックアップが指定の日数より古い場合に、アプリケーション開始時にシステムより警告メッセージが表示されます。
System Shutdown（システムシャットダウン）	管理者が選択または解除を行えます。 選択すると、システム全体がシャットダウンします（デフォルトの設定）。 解除すると、InSight-FDアプリケーションのみシャットダウンします。

表 25: Administrative Settings（管理者設定）、ボタンの機能

ボタン	機能
Configure（設定）	[Level of Detail]（詳細レベル）セクションを表示します。
Accept Change（変更を承認）	[System Error]（システムエラー）ログの詳細レベルを、[Error Only]（エラーのみ）または[Error and Operations]（エラーおよび操作）ボタンで選択したレベルに変更します。[Set Level of Detail]（詳細レベルの設定）セクションを非表示にします。

## 第17章 アプリケーションの使用

ユーザーはボタン、メニュー、メニュー機能、アイコンを選択できます。また、次の方法で挿入カーソルをフィールドに配置できます。

- 各項目にカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックする、または
- タッチ画面が有効になっている場合は、タッチ画面上の項目をタッチする。

[Audit Mode] (監査モード) が[ON]の場合、[Main] (メイン) 画面が表示されます。  
[Audit mode] (監査モード) が[OFF]の場合、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面が表示されます。

### 17.1 被検者の位置決め

検出器の上で被検者の体を希望の位置に配置します。必要に応じて位置決めレーザーを使用して、より詳細に位置決めします。

### 17.2 Main (メイン) 画面

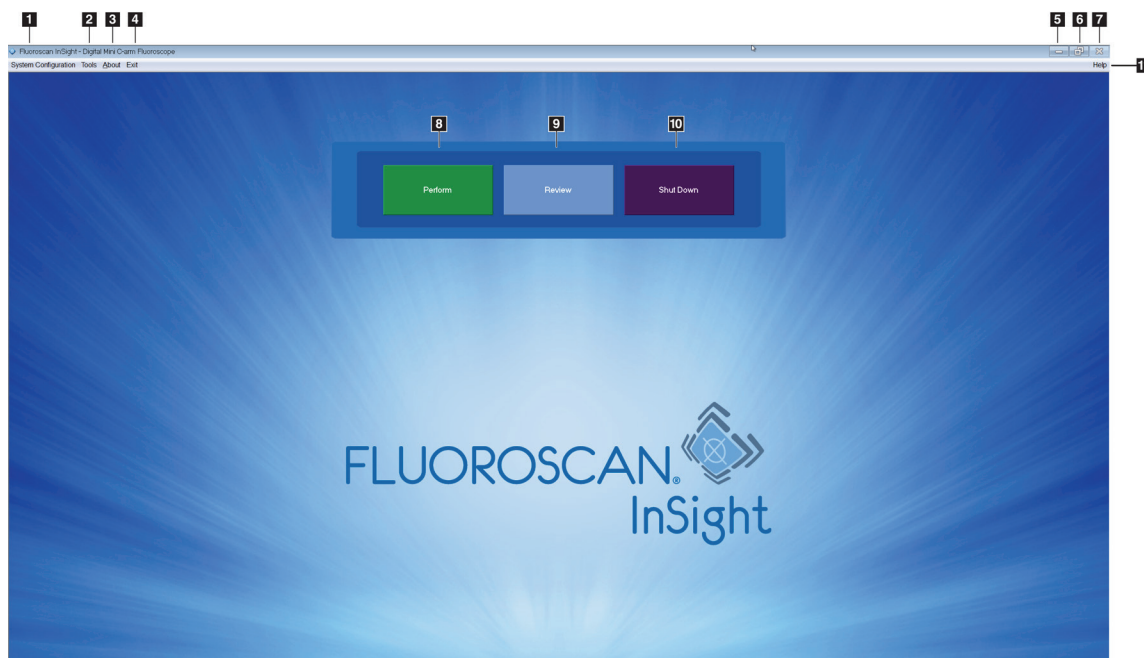


図27: Main (メイン) 画面

表26: Main (メイン) 画面のオプション

1	[System Configuration] (システム設定) メニュー。71ページの「 <a href="#">Main (メイン) 画面</a> 」セクションの「システム設定メニュー」の表を参照してください。
2	[Tools] (ツール) メニュー。71ページの「 <a href="#">Main (メイン) 画面</a> 」セクションの「Tools (ツール) メニュー」の表を参照してください。
3	<b>About (システム情報)</b> InSight-FDアプリケーションのバージョン番号、シリアル番号、および著作権データが表示されます。
4	[Exit] (終了) メニュー。ユーザーは、アプリケーションからログアウトまたは終了することができます。
5	画面の最小化
6	画面の最大化
7	アプリケーション画面を閉じます (利用不可)
8	画像の取り込みセッションを開始します。33ページの「 <a href="#">X線ヘッド制御パネル</a> 」セクションを参照してください。
9	画像レビューセッションを開始します。92ページの「 <a href="#">Review (レビュー) 画面</a> 」セクションを参照してください。
10	アプリケーションを終了してシステムをシャットダウンします。
11	[Help] (ヘルプ)。画面を利用するためのヘルプが表示されます。

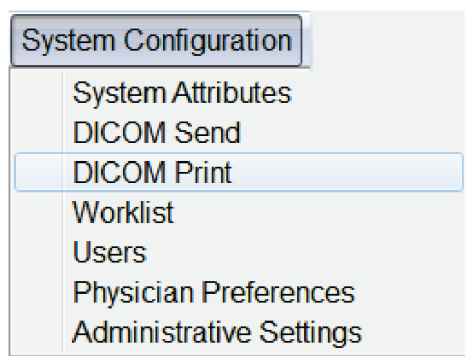


図28: システム設定メニュー

表 27: システム設定メニュー

機能	説明
<b>System Attributes</b> (システムの属性)	管理者は次の操作が可能です。組織名の入力、アプリケーションが使用するデフォルトの医師名の選択、デフォルトの言語の選択、DICOMアプリケーション情報の入力、および画像の削除時に表示される警告メッセージの確認。 システム情報はすべてのユーザーが閲覧可能です。52ページの「 <a href="#">システム</a> 」セクションを参照してください。
<b>DICOM Send</b> (DICOM送信)	[DICOM Send] (DICOM送信) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者は、送信先を追加、編集、削除、有効化/無効化できます。 宛先リスト、宛先情報、およびpingの宛先は、すべてのユーザーが閲覧可能です。54ページの「 <a href="#">DICOM送信のオプション</a> 」セクションを参照してください。
<b>DICOM Print</b> (DICOM印刷)	[DICOM Print] (DICOM印刷) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者は、印刷先を追加、編集、削除、有効化/無効化できます。 宛先リスト、宛先情報、およびpingの宛先は、すべてのユーザーが閲覧可能です。54ページの「 <a href="#">DICOM送信のオプション</a> 」セクションを参照してください。
<b>Worklist</b> (ワークリスト)	Worklist (ワークリスト) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者はソースを追加または設定することができます。 ソース情報およびソースへのpingは、すべてのユーザーが閲覧可能です。59ページの「 <a href="#">ワークリスト設定</a> 」セクションを参照してください。
<b>Users</b> (ユーザー)	InSight-FD内のすべてのユーザー権限はWindowsユーザーアカウントで管理されます。管理者は以下の操作が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいユーザーマッピングの追加</li> <li>• 既存のユーザーデータ、ステータス (有効/無効) 、および権限設定の編集</li> <li>• ユーザーマッピングの削除。</li> </ul> システムに登録されたユーザーリストは、すべてのユーザーが閲覧可能です。57ページの「 <a href="#">DICOM Print Options (DICOM印刷オプション)</a> 」セクションを参照してください。
<b>Physician Preferences</b> (医師の設定)	管理者は登録された医師のリストの管理、およびデフォルトの設定の編集が可能です。 システムに登録された医師のリスト、および各医師のデフォルトの設定は、すべてのユーザーが閲覧可能です。59ページの「 <a href="#">ワークリスト設定</a> 」セクションを参照してください。

表 27: システム設定メニュー

機能	説明
<b>Administrative Settings (管理者設定)</b>	<p>管理者は次の操作が可能です。システム/エラーログの詳細レベルの変更、監査モードのオンとオフの切り替え、タッチ画面の有効化と無効化、前回のシステム設定のバックアップ日の表示、アプリケーションのシャットダウン時にシステムをシャットダウンする機能のオンとオフ。</p> <p>管理者が管理するログファイルの統計情報およびデータは、すべてのユーザーが閲覧可能です。<a href="#">70</a>ページの「<a href="#">Administrative Settings (管理者設定) ページ</a>」セクションを参照してください。</p>

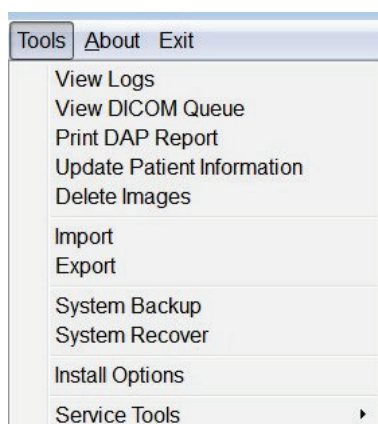
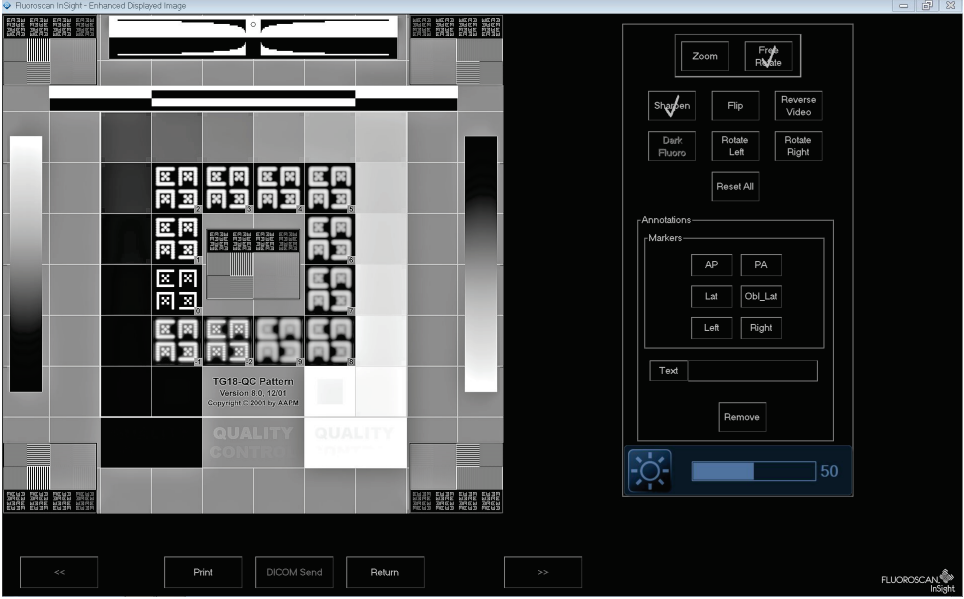


図 29: Tools (ツール) メニュー

表 28: Tools (ツール) メニュー

機能	説明
<b>View Logs (ログを表示)</b>	アプリケーションが保持するさまざまなログファイルの表示、印刷、エクスポート、場合によっては編集が可能です。
<b>View DICOM Queue (DICOM キューを表示)</b>	<p>[DICOM Send] (DICOM送信) オプションがインストールされている場合に表示されます。</p> <p>[DICOM Send] (DICOM送信) 要求のステータスの表示、および選択した要求の再試行や削除をします。<a href="#">108</a>ページの「<a href="#">View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ</a>」セクションを参照してください。</p>
<b>Print DAP Report (DAPレポートを印刷)</b>	<p>「Dose Area Product report」 (面積線量レポート) の表示、および印刷をします。</p> <p> <b>注記</b> DAPレポートの表示画面で[DICOM Send] (DICOM送信) を選択すると、DICOMの宛先にDAPレポートが送信されます。送信画像と一緒にDAPレポートを添付するには、DAPレポートを選択して送信画像に含める必要があります。DAPレポートを選択しなかった場合、画像のみが送信されます。</p>

表28: Tools (ツール) メニュー

<p><b>Update Patient Information (被検者情報の編集)</b></p>	<p>管理者は選択した被検者の検査に関する被検者の情報を更新できます。96ページの「<a href="#">Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ</a>」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Worklist Entry (ワークリストのエントリ)</b></p>	<p>サーバー接続なしでワークリストの設定ができます。104ページの「<a href="#">Worklist Entry (ワークリストのエントリ)</a>」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Delete Images (画像の削除)</b></p>	<p>管理者は選択した画像をシステムから削除できます。105ページの「<a href="#">Delete Images (画像の削除)</a>」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Import (インポート)</b></p>	<p>リムーバブルメディアから選択した画像をシステムにインポートします。102ページの「<a href="#">Import Images (画像のインポート) ウィンドウ</a>」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Export (エクスポート)</b></p>	<p>97ページの「<a href="#">Review Images (画像のレビュー) 画面からエクスポート</a>」セクションの図「Export Images (画像のエクスポート)」に示されているように、選択された画像をシステムからリムーバブルメディアにエクスポートします。</p>
<p><b>System Backup (システムバックアップ)</b></p>	<p>システム設定とキャリブレーションデータを外部メディアにバックアップします。</p>
<p><b>System Recover (システム復旧)</b></p>	<p>管理者はシステム設定およびキャリブレーションデータを外部メディアから復旧できます。</p>
<p><b>Install Options (オプションのインストール)</b></p>	<p>管理者はアプリケーションソフトウェアのオプションをインストールできます。</p>
<p><b>Service Tools (サービスツール) - SMPTE Pattern (SMPTE パターン)</b></p>	<p>管理者は、テストパターンを開いて、パフォーマンスや品質を確認および監視することができます。</p> 

## 17.3 X線ヘッド制御パネル

表 29: X線ヘッド制御パネル









記号	ラベル	機能
	保存する	選択した画像またはCineループを被検者のレコードに保存します。 保存されている画像の枚数やCineループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
	Rotate (回転)	画像を時計回りまたは反時計回りに回転させます。1回押すと10度回転します。長押しすると、連続で回転します。
	B/C (輝度/ コントラスト)	画像の輝度とコントラストを調整できます。
	X線	X線写真を撮影します。スイッチを1回押すと、X線が作動します。 モニターの上にある黄色のインジケータランプは、X線が発生していることを示します。 黄色のインジケータランプが消えている間、モニターは最後にX線撮影された画像を表示します。この画像はラストイメージホールド像と呼ばれることがあります。
	レーザー	位置決めレーザーをオンにします <sup>1</sup> 。
	Noise Suppression (ノイズ 抑制)	画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。65ページの「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定) - Image Processing (画像の処理)</a> 」セクションの「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a> 、 <a href="#">Image Processing (画像の処理)</a> タブ、セクションフィールドの説明」の表を参照してください。



表 29: X線ヘッド制御パネル

記号	ラベル	機能
	kV/mA	<p>選択したモードに基づいて技術的係数を増減させます。63ページの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定) - Image Acquisition (画像の取り込み)</a>」セクションの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a>、<a href="#">Image Processing (画像の処理)</a>」タブ、<a href="#">セクションフィールドの説明</a>」の表を参照してください。</p> <hr/> <p><b>注記</b> 出力増ボタンと出力減ボタンを同時に押すと、システムが [Auto Power] (オートパワー) モードに戻ります。</p>
	モード	<p>Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択) は次の順に切り替わります。</p> <p><b>Continuous</b> (連続) <sup>2</sup> - ユーザーがX線を作動させると、黄色のX線ランプが点灯し、モニターにリアルタイムの連続X線画像が表示されます。ユーザーがフットペダルかチューブヘッドスイッチを放してX線を停止すると、黄色のX線ランプが消灯し、ラストイメージホールド像 (X線停止時に画面に表示されていた画像) が表示されます。</p> <p><b>Snapshot</b> (スナップショット) <sup>2</sup> - X線を作動させると、装置がラストイメージホールド像のみを取り込みます。ラストイメージホールド像に使用されるX線線量は、X線モードの技術的係数とノイズ抑制の設定に左右されます。ユーザーがX線を止めると、照射は終了します。</p> <p><b>Cine Record</b> (Cineレコード) - 取り込んだリアルタイム透視画像を、Cineループに記録します。</p>

<sup>1</sup> [Laser] (レーザー) ボタンを10秒長押しすると、位置決めレーザーがオンのままになります。システムの電源を切ると、このオプションはリセットされます。

<sup>2</sup> [Continuous] (連続) モードや[Snapshot] (スナップショット) モードは無効にすることもできます。62ページの「[Physician Preferences \(医師の設定\)](#)」セクションを参照してください。

### 17.3.1 画像の取り込みセッション

#### Select or Enter Patient（被検者の選択または入力）ウィンドウ

アクセス方法は以下のとおりです。[Main]（メイン）画面から[Perform]（実行）をクリックし、[Image Acquisition]（画像の取り込み）画面から[Update Patient]（被検者の更新）をクリック、および画像の取り込みセッション時に[Review]（レビュー）画面から[Update Patient]（被検者の更新）をクリックする。

画像の取り込み前に被検者情報を入力していなかった場合、画像は一時的な被検者のレコードに関連付けられます（Temp Temp）。

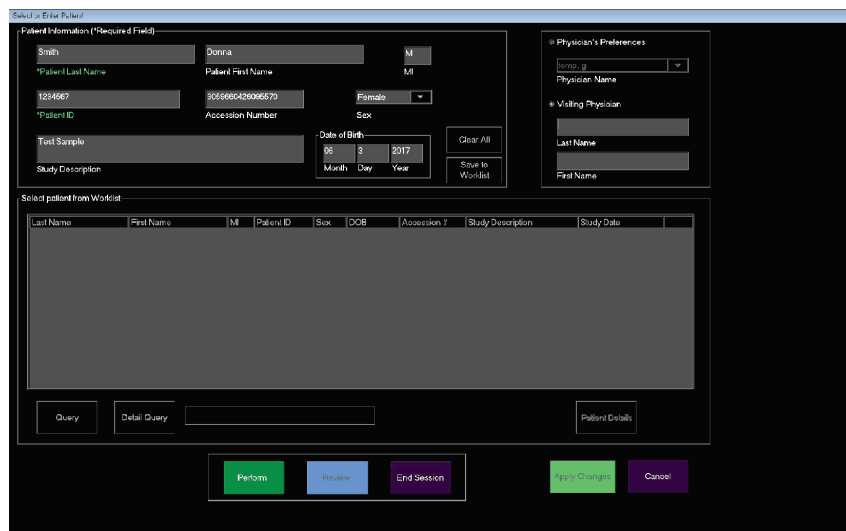


図 30: Select or Enter Patient（被検者の選択または入力）ウィンドウ

表 30: Select or Enter Patient（被検者の選択または入力）ウィンドウ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	機能
<b>Patient Information</b> (被検者情報)	現在の被検者を識別します。データは、ユーザーが入力するか、[Select Patient from]（被検者の選択元）の選択リストから被検者が選択されたときにそれを反映して入力されます。[Clear All]（すべてクリア）を選択すると、被検者情報フィールドの内容が消去されます。
<b>Physician's Preferences</b> (医師の設定)	システムに登録された医師の選択ボタンとドロップダウンリストです。
<b>Visiting Physician</b> (往診医師)	システムに医師が登録されていない場合に使用する、医師名の選択ボタンおよび入力フィールドです。

表31: Select or Enter Patient (被検者の選択または入力) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Clear All (すべて消去)	[Patient Information] (被検者の情報) フィールドをクリアします。
Perform (実行)	[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面を表示します。
Review (レビュー)	[Review] (レビュー) 画面を表示します。
Save To Worklist (ワークリストに 保存)	この被検者をワークリストのエントリに手動で追加します。
End Session (セッションを 終了)	被検者情報の入力を終了して、[Select or Enter Patient] (被検者の選択または入力) 画面から移動します。
Apply Changes (変更を適用)	[Select or Enter Patient] (被検者の選択または入力) 画面から移動せずに変更を入力します。
Cancel (キャンセル)	[Select or Enter Patient] (被検者の選択または入力) 画面から移動せずに被検者情報の入力をキャンセルします。

### 17.3.2 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

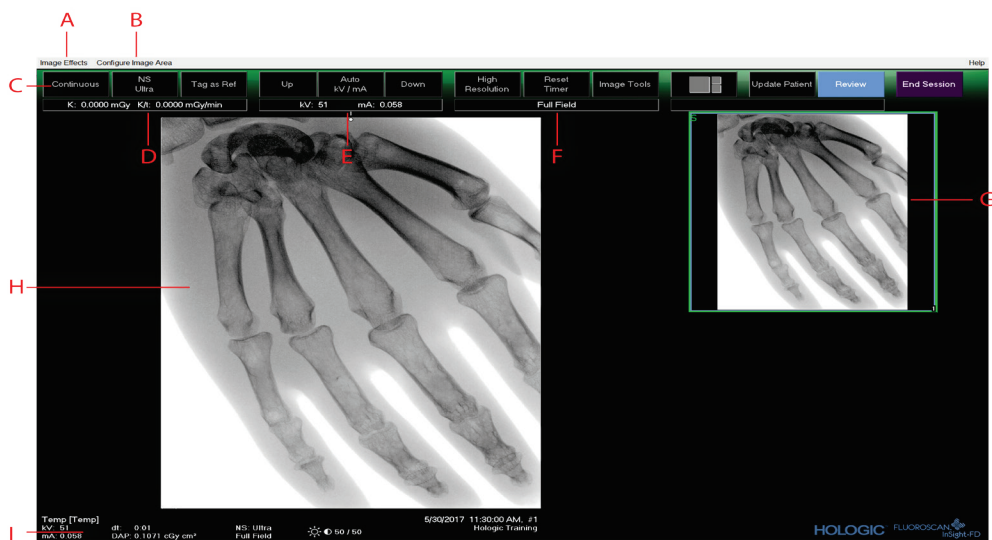


図31: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

表32: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

<b>A</b>	Image Effects (画像の効果) メニュー。次の表「Image Effects (画像の効果) メニュー」を参照してください。
<b>B</b>	Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー。 <a href="#">82</a> ページの「 <a href="#">フィルムストリップの記号</a> 」セクションの「Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー」の表を参照してください。
<b>C</b>	ファンクションボタン。 <a href="#">82</a> ページの「 <a href="#">フィルムストリップの記号</a> 」セクションの「Image Acquisition (画像の取り込み) 画面、ボタンの機能」の表を参照してください。
<b>D</b>	X線管が動作中のAKRおよび累積空気カーマを表示します。空気カーマはCMOS検出器の入り口の2cm上で計算されます。
<b>E</b>	現在の電源設定を表示します。
<b>F</b>	視準モードを表示します。[Limited Field] (限定視野) は小さなエリアを拡大します。[Full field] (全体視野) は大きなエリアを表示します。[collimation] (視準) スイッチを動かして、フィールドを切り替えることができます。[collimation] (視準) スイッチはX線ヘッドの下にあります。 <a href="#">31</a> ページの「 <a href="#">システム構成部品</a> 」セクションを参照してください。
<b>G</b>	フィルムストリップ/ツールエリア。ツールセットの説明については、 <a href="#">82</a> ページの「 <a href="#">フィルムストリップの記号</a> 」セクションの「ツールセット」の表を参照してください。
<b>H</b>	画像エリア*
<b>I</b>	累積DAPを表示します。
*X線ランプが点灯しX線が発生している場合、表示される画像は現在の透視画像になります。X線が終了すると、Cineモードが有効な場合を除き、画像はラストイメージホールド (LIH) 像になります。	

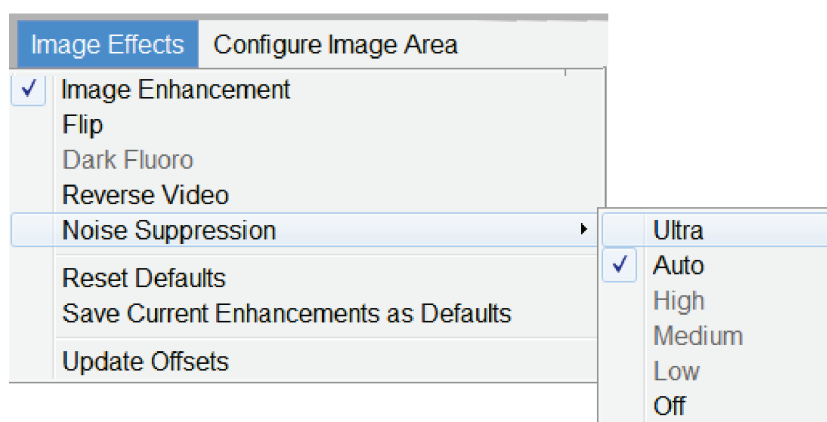


図32: Image Effects (画像の効果) メニュー

表 33: Image Effects (画像の効果) メニュー

機能	説明
Image Enhancement (画像のエンハンス 処理) *	96ページの「 <a href="#">Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ</a> 」セクションの「Update Patient/Study Information Window, Section Descriptions (被検者/検査情報の更新) ウィンドウ、セクションの説明」の表に示す[Image Enhancement] (画像のエンハンス処理) フィールドで設定されたエッジおよびシャープの設定により、画像がエンハンス処理されます。
Flip (反転) *	ユーザーが表示する前に画像が反転します。
Dark Fluoro (黒色透視画像) *	白色の画像ピクセルを黒色に変えます。
Reverse Video (ビデオの白黒反転) *	画像は白黒反転します (黒色が白色に、白色が黒色に変化)。
Noise Suppression (ノイズ抑制)	ノイズ抑制レベルを選択します。選択項目は、[Ultra] (ウルトラ)、[Auto] (自動)、[High] (高)、[Medium] (中)、[Low] (低)、および[Off] (オフ) です。 デフォルト設定については、62ページの「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a> 」のセクションを参照してください。
Reset Defaults (デフォルトに リセット)	画像のエンハンス処理、反転、黒色透視画像、ビデオの白黒反転、およびノイズ抑制設定を現在の医師の設定で指定されたデフォルト設定、または往診医師の場合はシステムのデフォルト設定にリセットします。
Save Current Enhancements as Defaults (現在のエンハンス 処理をデフォルト として保存)	選択した医師がシステムに登録されている場合、有効化されます。 現在の画像の効果の設定を、選択した医師の設定として保存します。
Update Offsets (オフセットの更新)	フラットフィールド補正のオフセットを更新します。
*無効化、初めからチェック、または初めからチェック解除を選択できます。62ページの「 <a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a> 」セクションを参照してください。	

### 17.3.3 フィルムストリップの記号

InSightソフトウェアのフィルムストリップ/サムネイル画像には次の記号が表示されます。

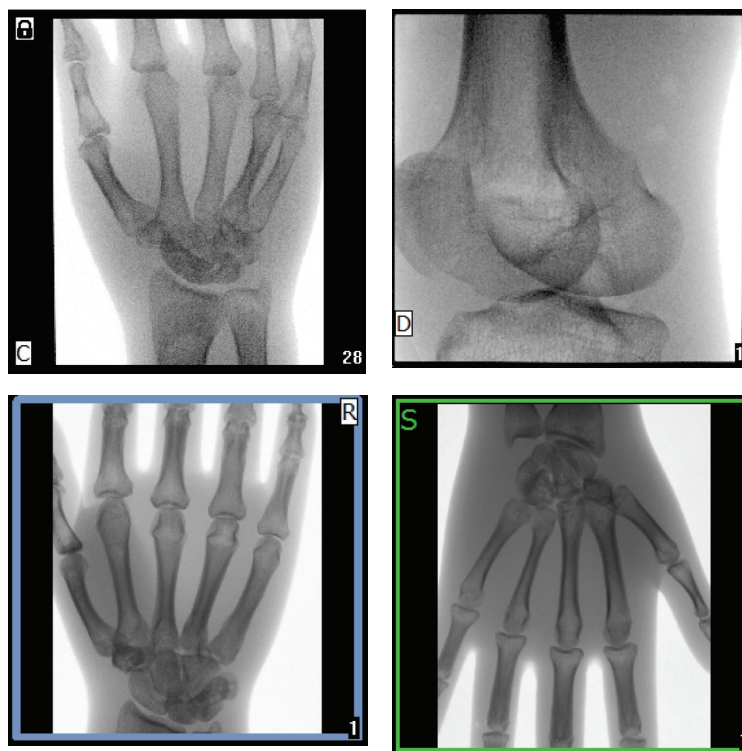



図 33: フィルムストリップの記号

表 34: フィルムストリップの記号

インジケータ	識別内容
C	Cineループ
D	DICOM保存委託
R	参照画像
S	保存済み (画像の周囲の緑色の輪郭で識別)
	ロック中の画像 (削除不可)

\*ロックアイコンは、[Review] (レビュー) 画面で表示可能で、ロックアイコン列の下のボックスを選択します。検査と画像はロックされます。

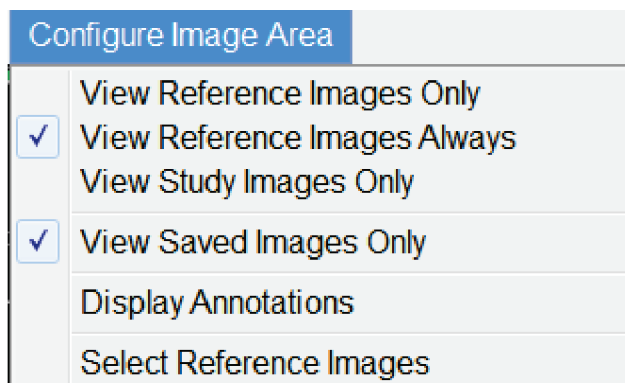


図34: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー

表35: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー

機能	説明
<b>View Reference Images Only</b> (参照画像のみ表示)	参照画像としてタグが付けられた画像のみフィルムストリップに表示します。これには、現在のセッション中に参照としてタグ付けされた画像や現在の被検者の過去の検査から選択された参照画像が含まれます。
<b>View Reference Images Always</b> (常に参照画像を表示)	参照としてタグが付けられた画像を常にフィルムストリップの上部に表示し、次に現在の被検者の過去の検査から選択された参照画像を表示し、その後に現在のセッションで取り込んだ非参照画像を逆の順序で表示します。
<b>View Study Images Only</b> (検査画像のみ表示)	現在のセッションで取り込んだ (参照および非参照) 画像のみフィルムストリップに表示します。
<b>View Saved Images</b> (保存画像を表示)	[Configure System Images] (システム画像の設定) メニューから [View Saved Images] (保存画像を表示) を選択すると、保存された画像のみフィルムストリップに表示します。
<b>Display Annotations</b> (注釈を表示)	ライブの画像エリアに表示する画像の注釈を表示します。
<b>Select Reference Images</b> (参照画像の選択)	[Select Reference Images] (参照画像の選択) ウィンドウを表示すると、ユーザーはシステムに存在する現在の被検者のすべての検査から画像を選択することができます。  [View Study Images Only] (検査画像のみ表示) にチェックがある場合を除き、選択された画像はフィルムストリップに配置され、次に現在のセッション中に取り込んだ参照画像が配置されます。

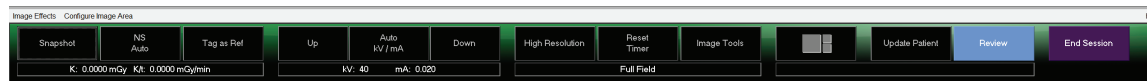


図35: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン

表 36: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能


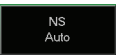
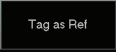
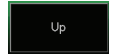
ボタン	画像	機能
Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択)		<p>以下を切り替えます。</p> <p><b>Continuous</b> (連続) – X線の作動時に、連続画像を表示します。</p> <p><b>Snapshot</b> (スナップショット) – X線の作動時に、画像を1枚キャプチャして表示します。</p> <p><b>Cine Record</b> (Cine録画) – 取り込んだすべての画像をまとめてCineループにします。</p> <p>[Continuous] (連続) モードや[Snapshot] (スナップショット) モードは無効にすることもできます。<a href="#">62</a>ページの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a>」セクションを参照してください。</p>
NS (ノイズ抑制)		<p>設定時に選択されたレベルを切り替えます。<a href="#">62</a>ページの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a>」セクションの「Physician Preferences (医師の設定)、セクション/フィールドの説明」の表を参照してください。</p> <p>[Ultra] (ウルトラ) を選択すると完全に静止した被写体の画像を取り込みます。[Ultra] (ウルトラ) レベルのイメージングの画像処理は高いノイズ抑制でフレームを平均化します。</p>
Tag as Ref (参照としてタグ付け)		現在のセッションの画像を参照画像としてマークする、またはマークされた画像のマークを解除します。
Up (アップ)		kVおよび/またはmAを1ずつ段階的に増やします。



表 36: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能

ボタン	画像	機能
<b>X-ray Power Adjustment Selection</b> (X線パワーの調整の選択) Auto kV/mA (自動kV/mA) Auto IQ kV/mA (自動IQ kV/mA) Manual kV/mA (手動kV/mA) Manual kV (手動kV) Manual mA (手動mA) Low Dose (低線量)		以下を切り替えます。 <b>オートモード</b> <b>Auto kV/mA</b> (自動kV/mA) – 自動的にkV/mAを調整します。 <b>Auto IQ kV/mA</b> (自動IQ kV/mA) – 自動的にkV/mAを調整します。 [Auto IQ] (自動IQ) モードを選択すると、明瞭度が向上してノイズが減少した、エンハンス処理された画像を取り込みます。[Auto IQ] (自動IQ) モードを使用すると、被検者へのX線量が増加します。ALARAに従い、エンハンス処理された明瞭度が必要な場合に [Auto IQ] (自動IQ) を使用します。 <b>低線量モード</b> <b>Low Dose</b> (低線量) – 自動的にkV/mAを調整します。 低線量モードを選択すると、低線量で画像を取り込みますが、被写体ぶれの影響が増加します。 <b>手動モード</b> <b>Manual kV/mA</b> (手動kV/mA) – [simultaneous kV/mA] (kV/mAの連動) <sup>1</sup> が有効な場合、ユーザーは手動でkV/mAを増減することが可能です。 <b>Manual kV</b> (手動kV) – [simultaneous kV/mA] (kV/mAの連動) <sup>1</sup> が無効な場合、ユーザーは手動でkVを増減することが可能です。 <b>Manual mA</b> (手動mA) – [simultaneous kV/mA] (kV/mAの連動) <sup>1</sup> が無効な場合、ユーザーは手動でmAを増減することが可能です。
Up (アップ)		kVおよび/またはmAを1ずつ段階的に増やします。
Down (ダウン)		kVおよび/またはmAを1ずつ段階的に減らします。
Resolution Mode (解像度モード)		[Resolution Mode] (解像度モード) ボタンを選択すると、[High Resolution Mode] (高解像度モード) <sup>2</sup> と[Standard Resolution] (標準解像度) が切り替わります。
Reset Timer (タイマーをリセット)		X線の警告タイマーをゼロにリセットしてアラームの鳴動をオフにします。
Image Tools (画像ツール)		フィルムストリップ/ツールエリアのツールセットを表示または非表示にします。
Format Toggle (フォーマットの切り替え)		現在の画像サイズと、フィルムストリップエリアに表示するサムネイル画像の数を選択します。

表 36: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能





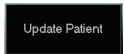

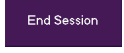

ボタン	画像	機能
		 1枚のフィルムストリップ画像。
		 2枚のフィルムストリップ画像。
		 3枚のフィルムストリップ画像。
		 4枚のフィルムストリップ画像。
<b>Update Patient</b> (被検者の更新)		[Select or Enter Patient] (被検者の選択または入力) ウィンドウに戻ります。
<b>Review</b> (レビュー)		[Review Images] (画像のレビュー) 画面を表示します。
<b>End Session</b> (セッションを終了)		現在の被検者の取り込みセッションを終了します。[Main] (メイン) 画面に戻ります。
<small><sup>1</sup> Simultaneous kV/mA (kV/mAの運動) の有効化/無効化については、62ページの「<a href="#">Physician Preferences (医師の設定)</a>」セクションを参照してください。  <sup>2</sup> [High Resolution Mode] (高解像度モード) は、[Standard Resolution Mode] (標準解像度モード) と比較して高い線量でより詳細にキャプチャしますが、被写体ぶれの影響が増加します。[Zoom] (ズーム) ツールを使用して高解像度の画像を詳細に表示します。</small>		

表 37: ツールセット

ボタン	機能
<b>Zoom</b> (ズーム)	現在の画像を2倍に拡大します。拡大された画像は、画像の別のエリアを閲覧するために、マウスやタッチ画面でドラッグしてパンすることができます。 [Pinch to Zoom] (ピンチしてズーム) により、タッチ画面を使用して画像を拡大・縮小することができます - 外側にピンチするとズームになり、内側にピンチすると画像が縮小して通常のサイズになります。
<b>Free Rotate</b> (自由に回転)	マウスやタッチ画面を使用して画像を自由に回転できます。
<b>Enhance</b> (エンハンス処理) *	前述の表「Image Acquisition (画像の取り込み) 画面、ボタンの機能」で選択された [Image Enhancement] (画像のエンハンス処理) 設定に基づいて、画像に対してエンハンス処理を適用/適用解除します。
<b>Flip</b> (反転) *	画像の中央を中心に画像を水平方向に反転/反転を解除します。
<b>Reverse Video</b> (ビデオの白黒反転) *	画像に対して [Reverse Video] (ビデオの白黒反転) を適用/適用解除します (黒色が白色に、白色が黒色に変化)。
<b>Dark Fluoro</b> (黒色透視画像) *	画像に対して [Dark Fluoro] (黒色透視画像) を適用/適用解除します (白色の画像ピクセルが黒色に変化)。

表37: ツールセット

ボタン	機能
<b>Rotate Left</b> (左に回転)	画像を時計と反対回りに10度ずつ回転します。
<b>Rotate Right</b> (右に回転)	画像を時計回りに10度ずつ回転します。
<b>Reset All</b> (すべてをリセットする)	画像に対して処理しているすべてのイメージを、前回保存した画像の状態にリセットします。
<b>Annotations (注釈)</b>	<p>ユーザーが、マーカーやテキストを画像に追加できる、または選択したマーカーやテキストを画像から削除できるファンクションボタンやフィールドを含みます。</p> <p>注釈はマウスやタッチ画面を使用して移動したり削除したりすることができます。</p> <p>注釈を削除するには、注釈を選択してから[Delete] (削除) を選択します。</p> <p>注釈には以下が含まれます。AP、PA、Lat、Obl_Lat、左、右、テキスト (画像上のテキストボックスにテキストを配置します)。</p>
<b>Brightness/Contrast</b> (輝度/コントラスト)	<p>選択した画像の輝度とコントラストを調整できます。</p> 
*このボタンはオン、オフ、または無効化することができます。62ページの「Physician Preferences (医師の設定)」セクションを参照してください	

### 17.3.4 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ

[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面から、[Configure Image Area] (画像エリアの設定) メニューに移動して、[Select Reference Images] (参照画像の選択) を選択してアクセスできます。

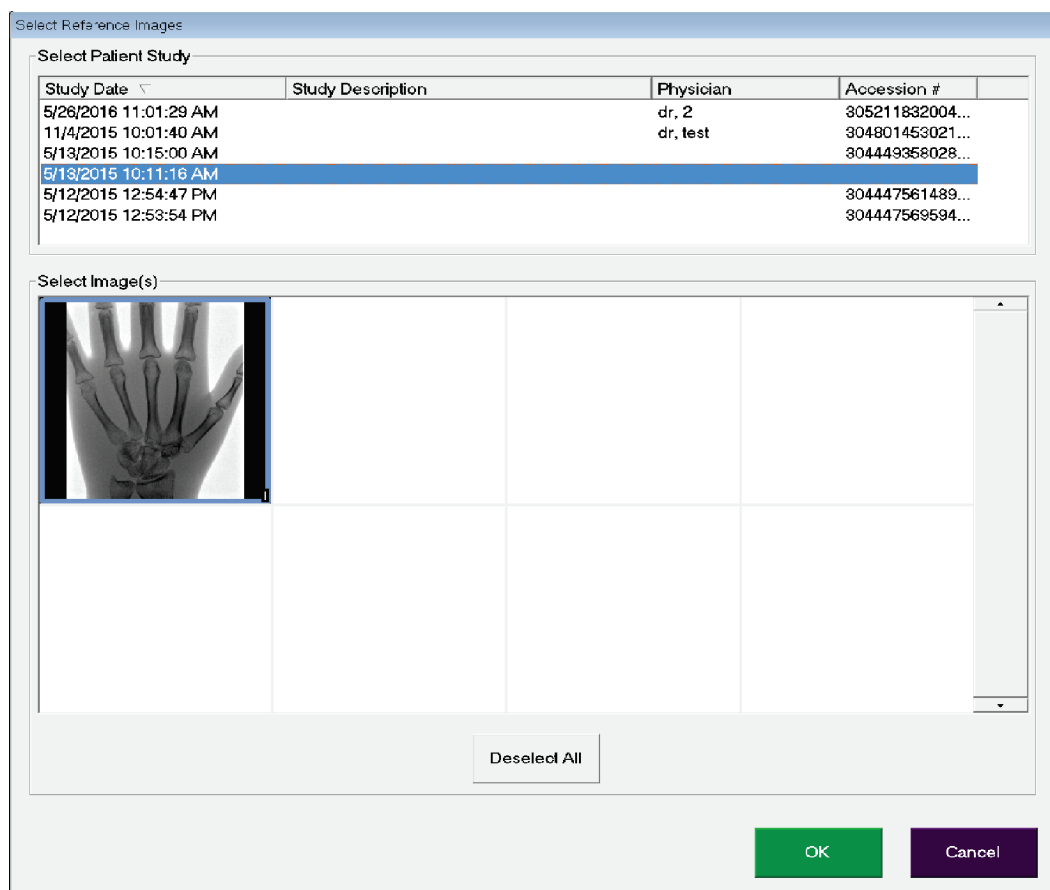


図 36: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ

表 38: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
<b>Select Patient Study (被検者の検査を選択)</b>	システムに保存されている現在の被検者の過去の検査の選択リストです。各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。
<b>Select Image(s) (画像を選択)</b>	選択した被検者/検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または[Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択/選択解除できます。フィルムストラップのレイアウトにすべての画像が表示できない場合、スクロールバーが表示されます。

表 39: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Select All/ Deselect All (すべて選択/すべて削除)</b>	画像の選択リストですべての画像を選択または選択解除します。
<b>OK</b>	[Configure Image Area] (画像エリアの設定) メニューの[View Study Images Only] (検査画像のみ表示) にチェックがない場合、選択されたすべての画像は[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のフィルムストリップに戻されます。
<b>Cancel (キャンセル)</b>	すべての画像を[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面に戻さずにウィンドウを閉じます。

## 17.4 Review Images Session (画像セッションのレビュー)

### 17.4.1 Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ

[Main] (メイン) 画面から[Review] (レビュー) をクリック、およびレビューセッション中に[Review] (レビュー) 画面から[Select Patient] (被検者を選択) をクリックし、アクセスできます。



**注記**

ワイド画面モニターでは、検査を1つ選択すると、画像はモニター画面の右側の1列に上下に表示されます。

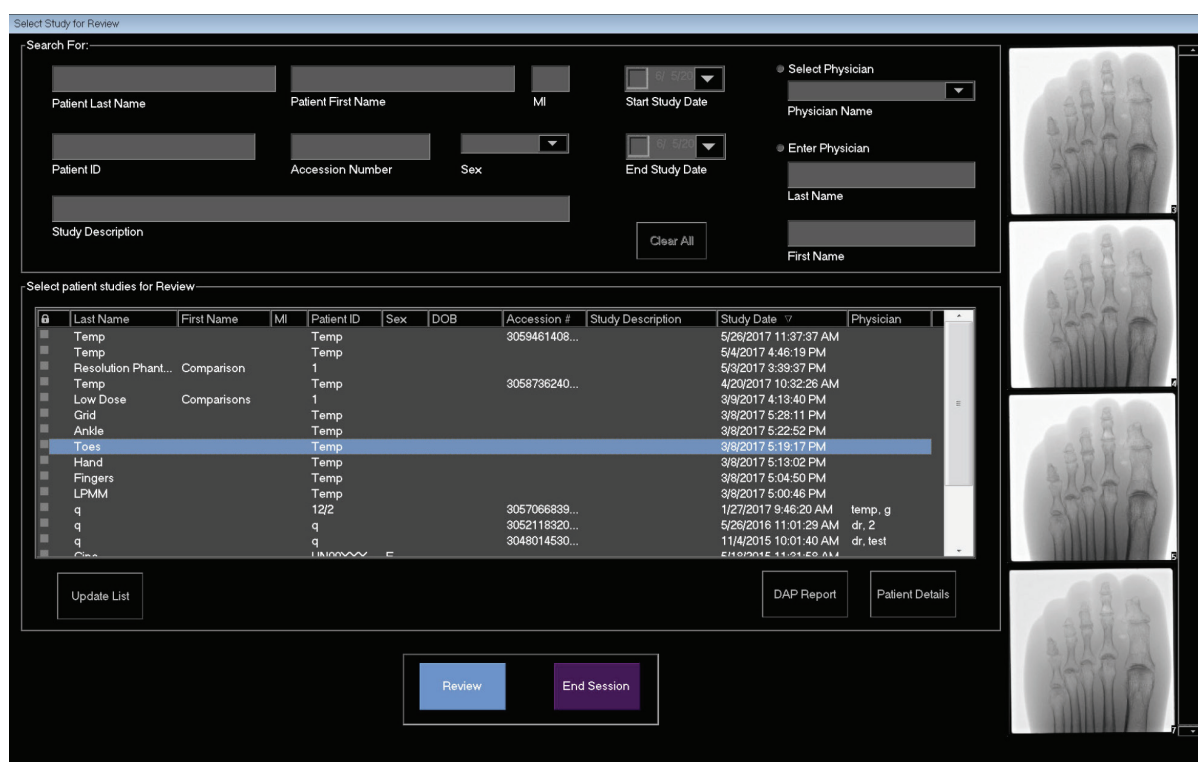


図 37: Study for Review (レビューする検査)


表 40: [Study for Review] ウィンドウ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Search For</b> (検索対象)	検索条件の入力フィールド 検索条件として[Start Study Dates] (検査開始日) / [End Study Dates] (検査終了日) を使用するには、チェックボックスにチェックを入れる必要があります。各チェックボックスにチェックを入れるには、ボックスをクリックする、日付フィールドに日付を入力する、または下向き矢印をクリックしたときに表示されるカレンダーページから日付を選択する必要があります。

表 40: [Study for Review] ウィンドウ、セクション/フィールドの説明

セクション/フィールド	説明
<b>Select Physician</b> (医師の選択)	システムに登録された医師の選択ボタンとドロップダウンリストです。
<b>Enter Physician</b> (医師の入力)	医師名の選択ボタンと2つの入力フィールドです。システムに登録されていない医師名の場合に使用します。
<b>Select Patient Studies for Review</b> (レビューする被検者の検査を選択)	システム上のすべての被検者/検査レコードの選択リストです。 選択リストは、[Search For] (検索方法) セクションで1つ以上のフィールドを入力した後、[Update List] (リストの更新) をクリックしてフィルタリングできます。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。 複数の検査の選択が可能です。

表 41: Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Clear All</b> (すべて消去)	[Search For] (選択方法) セクションのすべてのエントリを消去します。
<b>Update List</b> (リストの更新)	[Search For] (検索方法) セクションの条件を使用して[Select Patient Studies for Review] (レビューする被検者の検査を選択) 選択リストを更新し、リストを絞り込みます。すべての[Search For] (検索方法) パラメータが空の場合、システム内のすべての検査のリストが取得されます。
<b>DAP Report</b> (DAPレポート)	選択した被検者のDAPレポートを表示します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>注記</b></p> <p> DAPレポートの表示画面で[DICOM Send] (DICOM送信) を選択すると、DICOMの宛先にDAPレポートが送信されます。送信画像と一緒にDAPレポートを添付するには、DAPレポートを選択して送信画像に含める必要があります。DAPレポートを選択しなかった場合、画像のみが送信されます。</p> </div>
<b>Patient Details</b> (被検者の詳細)	選択された検査が1つのみの場合に有効化されます。 被検者情報を表示します。
<b>Review</b> (レビュー)	[Review] (レビュー) 画面を表示します。[Review] (レビュー) ボタンを有効化するには、少なくとも1つの検査を選択する必要があります。
<b>End Session</b> (セッションを終了)	レビューセッションを終了します。

### 17.4.2 Review (レビュー) 画面

[Select Study for Review] (レビューする検査を選択) ウィンドウから、および[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面から[Review] (レビュー) をクリックし、アクセスできます。

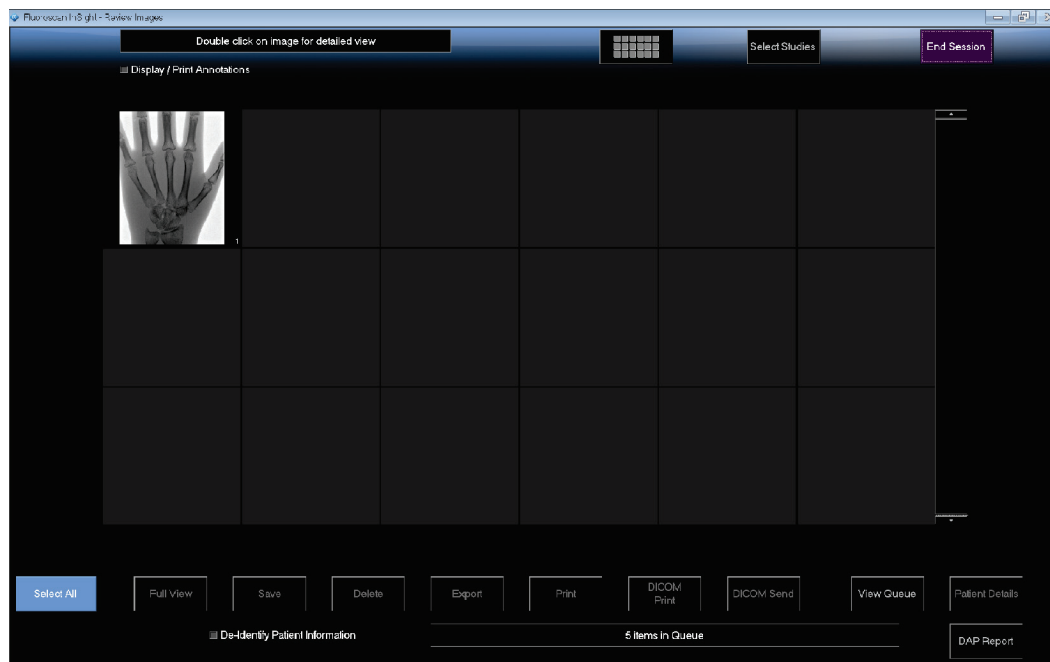


図 38: Review Images (画像のレビュー) 画面

表 42: Review (レビュー) 画面、ボタンの機能




ボタン	機能
Display Mode Selection (表示モードの選択)	画像の表示方法を決定します。
	 2枚の画像の1行を表示します。
	 4枚の画像の2行を表示します。
	 6枚の画像の3行を表示します。
Select Studies (検査の選択)	レビューする検査を選択します。
Display/Print Annotations (注釈の表示/印刷)	表示されている画像の注釈を表示または印刷します。
Display Saved Images Only (保存画面のみを表示)	取り込みセッション中のみ表示されます。保存されている画像のみ表示します。



表 42: Review (レビュー) 画面、ボタンの機能

ボタン	機能
Select/Deselect All (すべて選択/すべて 選択解除)	以下を切り替えます。 [Select All] (すべて選択) — すべての未選択画像を選択します。 [Deselect All] (すべて選択解除) — すべての選択済み画像の選択を解除します。
Full View (全体表示)	選択されている画像を、95ページの[Enhanced Displayed Image] (画像のエンハンス表示) 画面セクションで表示します。
Save (保存する)	選択した画像またはCineループを被検者のレコードに保存します。 保存されている画像の枚数やCineループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
Delete (削除)	選択した画像を削除します。システム設定の[Query on Delete] (削除時の質問) を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。[Yes] (はい) を選択すると削除が確定し、[No] (いいえ) を選択すると削除がキャンセルされます。
Export (エクスポート)	選択した画像またはCineループをリムーバブルメディアにコピーします。 [De-Identify Patient Information] (被検者情報の識別を解除) を選択すると、画像から被検者の情報が削除されます。
Print (プリント)	選択した画像をローカルプリンタで印刷します。 [Display/Print Annotations] (注釈の表示/印刷) にチェックを入れると、画像は注釈付きで印刷されます。[De-Identify Patient Information] (被検者情報の識別を解除) を選択すると、画像から被検者の情報が削除されます。
DICOM Print (DICOM印刷)	選択した画像をDICOMノードプリンタに送信して印刷します。[Display/Print Annotations] (注釈の表示/印刷) にチェックを入れると、画像は注釈付きで印刷されます。[De-Identify Patient Information] (被検者情報の識別を解除) を選択すると、画像から被検者の情報が削除されます。
DICOM Send (DICOM送信)	選択した画像をDICOMノードプリンタに送信します。[De-Identify Patient Information] (被検者情報の識別を解除) を選択すると、画像から被検者の情報が削除されます。
View Queue (キューを表示)	すべてのDICOM送信要求の状態を表示します。108ページの「View DICOM Queue (DICOMキューの表示) ウィンドウ」セクションを参照してください。
Patient Details (被検者の詳細)	被検者情報を表示します。[Additional Details] (追加の詳細) を選択すると、[Vista Dialog] (Vistaダイアログ) が表示されます。92ページの「Review (レビュー) 画面」セクションの「VISTA Details (予測の詳細)」の図を参照してください。
DAP Report (DAPレポート)	選択した被検者のDAPレポートを表示します。  <b>注記</b> DAPレポートの表示画面で[DICOM Send] (DICOM送信) を選択すると、DICOMの宛先にDAPレポートが送信されます。
De-Identify Patient Information (被検者情報の識別を解除)	特定の被検者に関連する被検者の健康情報の詳細を除外します。

# InSight-FD ミニ C アーム ユーザーガイド

## 第 17 章：アプリケーションの使用

表 42: Review (レビュー) 画面、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Update Patient / Select Study</b> (被検者の更新/ 検査を選択)	取り込み画面で、[Select or Enter Patient] (被検者の選択または入力) ウィンドウに戻り、被検者の詳細を表示または更新します。 レビューセッションで、[Select Patient for Review] (レビューする被検者を選択) ウィンドウに戻り、別の被検者の検査を選択します。
<b>Perform (実行)</b>	取り込みセッション中のみ表示されます。 [Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面を表示します。
<b>End Session</b> (セッションを終了)	現在のセッションを終了します。

Patient Details

First Name:

Last Name: q

Patient ID: q

Study Description:

Physician:

Accession #:

Birth Date:

Location:

Date Time: 5/13/2015

Additional Data

Close

図 39: Patient Details (被検者の詳細)

VISTA Details

Other Patient ID: Procedure Comments:

Ethnic Group: Scheduled Code Value:

Patient Comment: Scheduled Code Scheme:

Pregnancy Status: Scheduled Code Description:

Medical Alerts: Requested Code Value:

History: Requested Code Scheme:

Current Location: Requested Code Description:

AE Title: Image Comments:

Procedure Location: Requesting Service:

Procedure Description: Attending Physician:

Performing Physician: Requesting Physician:

Procedure Date:

Close

図 40: VISTA Details (予測の詳細)

## Enhanced Displayed Image（画像のエンハンス表示）画面

[Review Images]（画像のレビュー）画面から画像を1つ選択して[Full View]（全体表示）を選択するか、画像をダブルクリックすると、利用できます。



図 41: Enhanced Displayed Image（画像のエンハンス表示）画面

ツールセットは、[82](#)ページの「[フィルムストリップの記号](#)」セクションの「ツールセット」の表で説明しているツールと同一です。

表 43: Detailed Image Viewing（画像の詳細表示）画面、ボタンの機能

ボタン	機能
<< (Previous Image) (前の画像)	前の画像を表示します。
Print (プリント)	画像を印刷します。
Delete (削除)	現在表示中の画像を削除します。システム設定の[Query on Delete]（削除時の質問）を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。 [Yes]（はい）を選択すると削除が確定し、[No]（いいえ）を選択すると削除がキャンセルされます。
Return (戻る)	[Review]（レビュー）画面に戻ります。
>> (Next Image) (次の画像)	次の画像を表示します。

## 17.5 被検者の検査レコードの運用

### 17.5.1 Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ


管理者は、[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューからアクセスできます。

図 42: Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ

表 44: Update Patient Study Information (被検者の検査情報の更新) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
<b>Select Patient Study (被検者の検査を選択)</b>	システム上のすべての被検者/検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション ([Find] (検索)) です。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。 [Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。
<b>Find (検索)</b>	被検者/検査をすばやく検索するために使用します。
<b>Update Patient Information (被検者情報の編集)</b>	選択した被検者/検査レコードからの情報を表示します。

表 45: [Update Patient/Study Information] (被検者/検査情報の更新) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Update (更新)	<p>選択した検査のすべての画像の被検者情報を更新します。</p> <hr/> <p> <b>注記</b> Auto-Accession (自動受付) 番号は特定の被検者と関連付けられません。被検者情報を更新した場合も変更されません。</p>
Cancel (キャンセル)	更新せずにウィンドウを閉じて[Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 17.6 Export Images (画像のエクスポート)

[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューから、および[Review Images] (画像のレビュー) 画面から、アクセスできます。

### 17.6.1 Review Images (画像のレビュー) 画面からエクスポート

USBデバイスを使用してエクスポートできます。USBデバイスをシステムのUSBポートに挿入した後、次のステップを実行します。

1. 97ページの「[Review Images \(画像のレビュー\) 画面からエクスポート](#)」セクションに示す[Review Images] (画像のレビュー) 画面で、エクスポートする画像を選択します。
2. [Export] (エクスポート) を選択すると、97ページの「[Review Images \(画像のレビュー\) 画面からエクスポート](#)」セクションに示す[Export Images] (画像のエクスポート) パネルが開きます。
3. エクスポートのオプションを選択します。[File Type] (ファイルタイプ) および/または[Annotation] (注釈)
4. [Export] (エクスポート) を選択します。

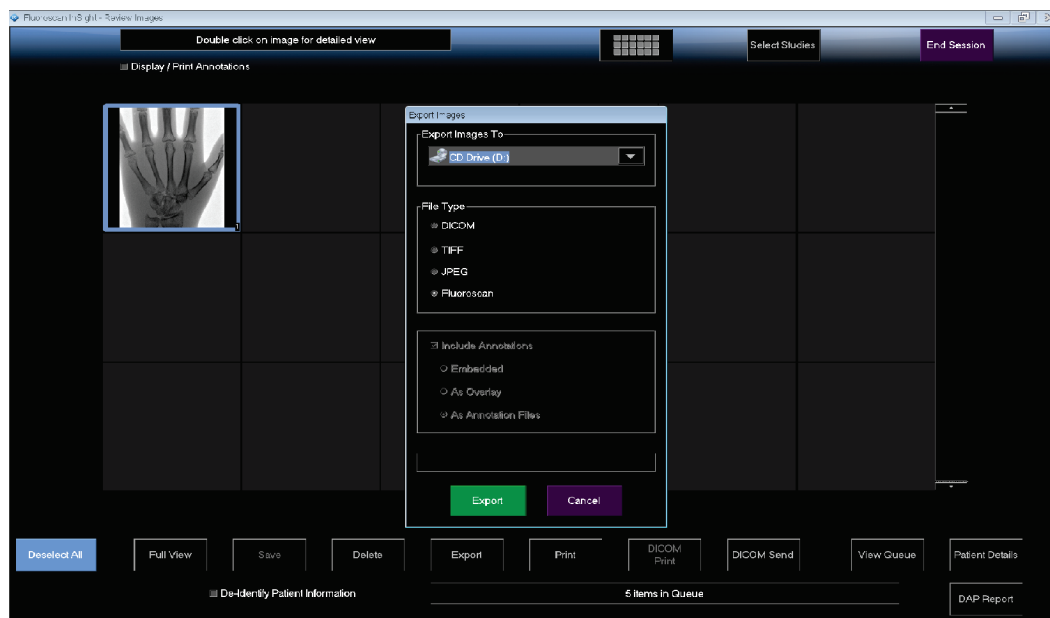


図 43: Review Images (画像のレビュー) 画面

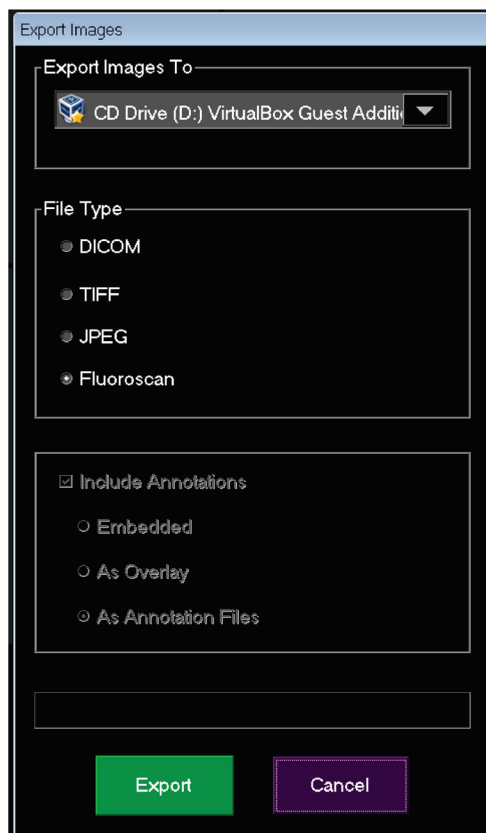


図 44: Export Images (画像のエクスポート) パネル

## Tools (ツール) メニューによるエクスポート

1. **[Tools]** (ツール) メニューから、**[Export]** (エクスポート) を選択します。以下の図を参照してください。

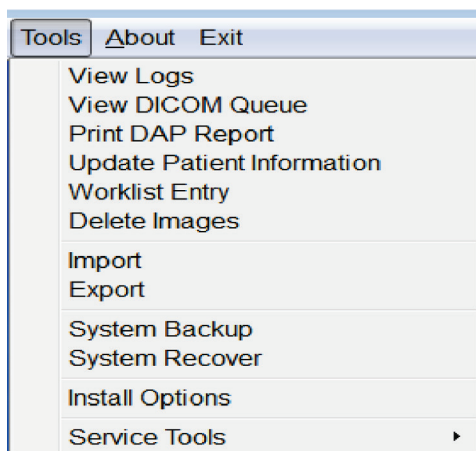


図45: Tools (ツール) メニューの Export (エクスポート)

2. **[Export]** (エクスポート) を選択すると**[Export Images]** (画像のエクスポート) ウィンドウが開きます。
3. **[Export Images]** (画像のエクスポート) ウィンドウで、ファイルのエクスポート元とする検査を選択します。以下の図を参照してください。

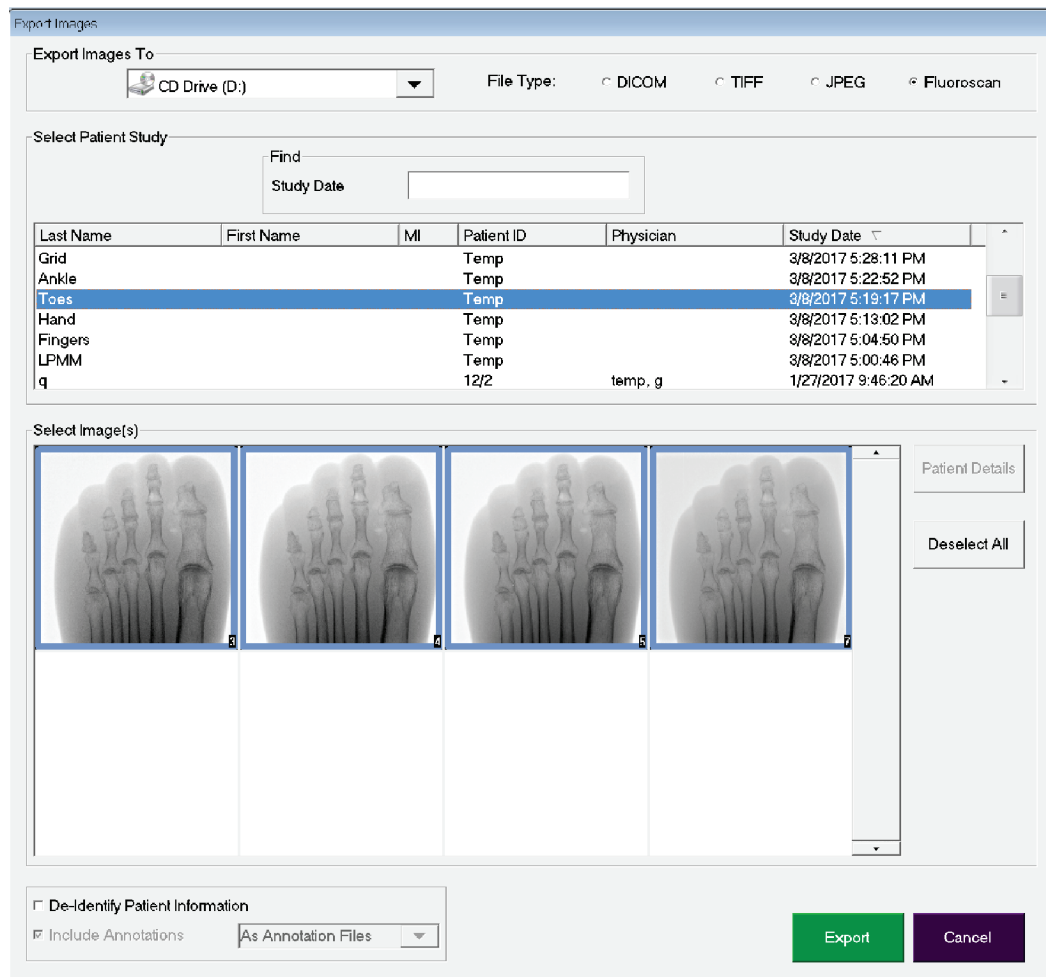


図 46: Export Images (画像のエクスポート)

4. **[Export]** (エクスポート) を選択すると**[Export Images]** (画像のエクスポート) ウィンドウが開きます。
5. エクスポートする画像およびオプションを選択します。
  - a. エクスポートする画像を選択します。
  - b. ファイルのエクスポート先を指定します。
  - c. **[File Type]** (ファイルの種類) を選択します。
  - d. 被検者情報の識別を解除します。
  - e. 注釈
6. **[Export]** (エクスポート) を選択します。



表 46: Export (エクスポート) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Export Images to (画像のエクスポート先)	システムから現在利用可能なリムーバブルメディアの選択リストです。[Other Locations] (その他の場所) を使用すると、ユーザーはシステムまたはネットワーク上のフォルダを検索できます。
File Type (ファイルの種類)	ファイル形式の選択です。
Select Patient Study (被検者の検査を選択)	システム上のすべての被検者/検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション ([Find] (検索)) です。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。 複数の検査の選択が可能です。検査を1つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が[Select Images] (画像の選択) セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。
Find (検索)	被検者/検査をすばやく検索するために使用します。
Select Image(s) (画像を選択)	被検者/検査を1つ選択した場合、画像が表示されます。 複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。 選択した被検者/検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。 選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または[Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択/解除できます。
De-Identify Patient Information (被検者情報の識別を解除)	選択すると、エクスポートされる画像から被検者識別情報が削除されます。
Include Annotations (注釈を含む)	チェックを入れると、エクスポートされる画像に注釈が含まれます。含める方法の選択肢は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Embedded</b> (埋め込み) — 注釈はビットマップ画像に埋め込まれます。</li> <li>• <b>As Overlay</b> (オーバーレイ) — 注釈はDICOMのオーバーレイとして含まれます。</li> <li>• <b>As annotation files</b> (注釈ファイル) — 注釈は別のファイルとして含まれます。</li> </ul>

表 47: [Export] ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Patient Details</b> (被検者の詳細)	画像を1枚選択した場合のみ有効化されます。 被検者情報を表示します。
<b>Select All/Deselect All</b> (すべて選択/すべて削除)	画像選択リストですべての画像を選択または解除します。
<b>Export</b> (エクスポート)	選択した画像を特定のメディアデバイスに特定の形式でエクスポートします。複数の検査が選択された場合、各検査のすべての画像がコピーされます。画像はシステムから削除されません。
<b>Cancel (キャンセル)</b>	エクスポートせずにウィンドウを閉じて[Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 17.7 Import Images (画像のインポート) ウィンドウ

USBデバイスを使用してインポートできます。USBデバイスをシステムのUSBポートに挿入した後、画像をインポートします。

[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューから利用できます。以下の図を参照してください。

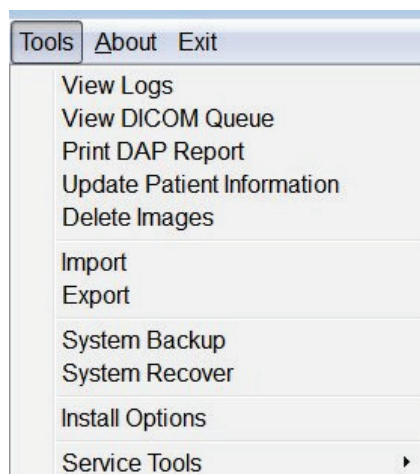


図 47: Tools (ツール) メニュー

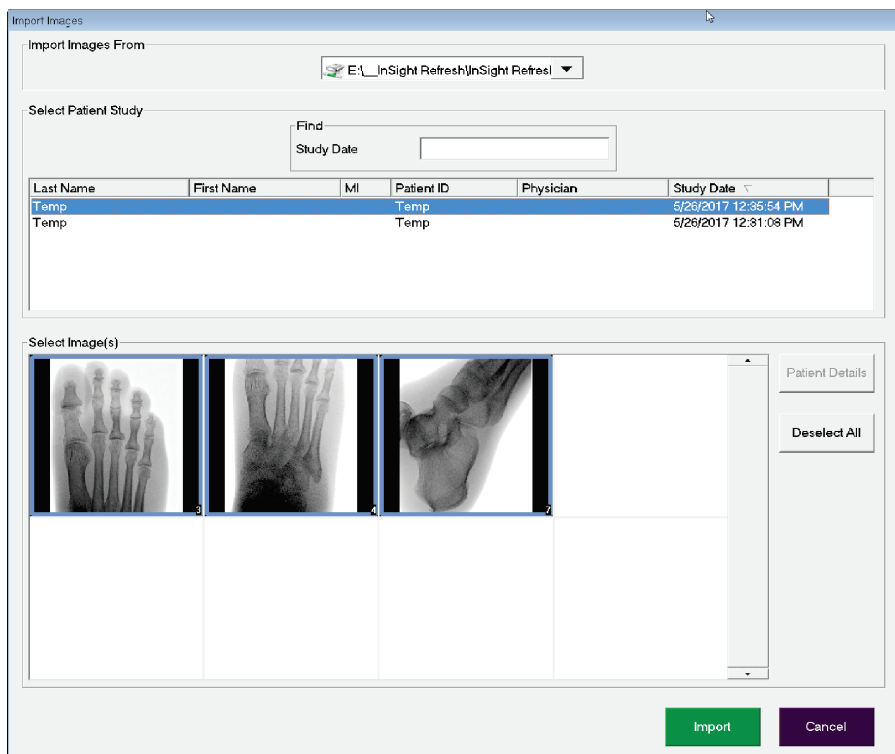


図 48: Import Images (画像のインポート) ウィンドウ

表 48: Import (インポート) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Import Images from (画像のインポート元)	システムから現在利用可能なリムーバブルメディアの選択リストです。[Other Locations] (その他の場所) を使用すると、ユーザーはシステムまたはネットワーク上のフォルダを検索できます。
Select Patient Study (被検者の検査を選択)	<p>選択したメディア上のすべての被検者/検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション (検索) です。</p> <p>各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。</p> <p>複数の検査の選択が可能です。検査を1つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が[Select Images] (画像の選択) セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。</p>
Find (検索)	被検者/検査をすばやく検索するために使用します。

表 48: Import (インポート) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Select Image(s) (画像を選択)	被検者/検査を1つ選択した場合、画像が表示されます。 複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。 選択した被検者/検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。 選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または[Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択/解除できます。

表 49: [Import] (インポート) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Patient Details (被検者の詳細)	画像を1枚選択した場合のみ有効化されます。 被検者情報を表示します。
Select All/Deselect All (すべて選択/すべて削除)	画像選択リストですべての画像を選択または解除します。
Import (インポート)	選択した画像をシステムにインポートします。
Cancel (キャンセル)	インポートせずにウィンドウを閉じて[Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 17.8 Worklist Entry (ワークリストのエントリ)

[Worklist Entry] (ワークリストのエントリ) では、サーバー接続なしでワークリストの設定ができます

### 17.8.1 オプション1 : Tools (ツール) のサブメニュー

1. [Tools] (ツール) を選択します。
2. [Worklist Entry] (ワークリストのエントリ) を選択します。
3. 被検者情報を入力します。
4. [Add] (追加) を選択して被検者情報を[Worklist] (ワークリスト) に入力します。

### 17.8.2 オプション2 : Patient Information (被検者情報) 画面

1. 被検者情報を[Patient Information] (被検者情報) 画面に入力した後、[Save to Worklist] (ワークリストに保存) を選択します。78ページの図「[Select or Enter Patient \(被検者の選択または入力\) ウィンドウ](#)」を参照してください。
2. [OK] を選択します。

## 17.9 Delete Images (画像の削除)

管理者は、[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューからアクセスできます。

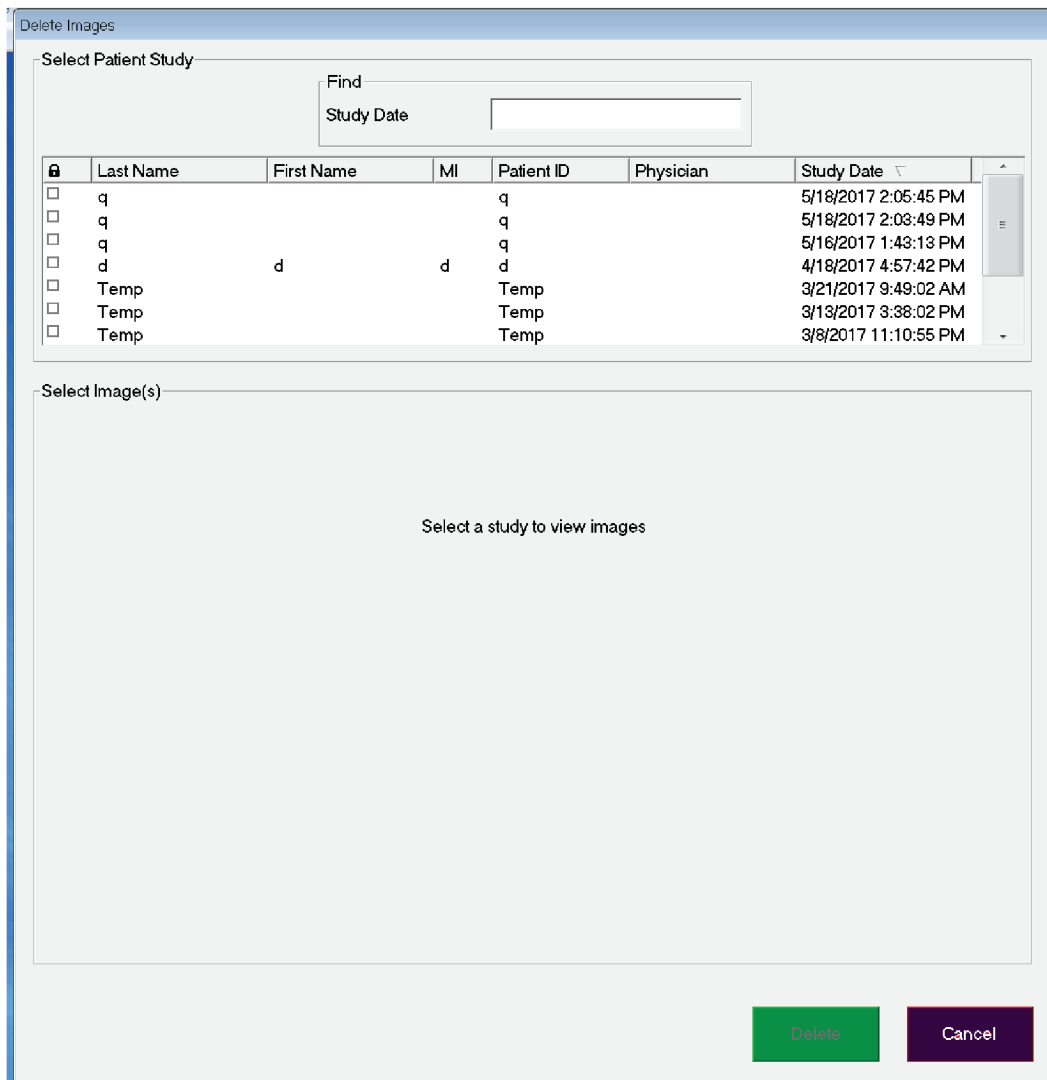


図 49: Delete Images (画像の削除)

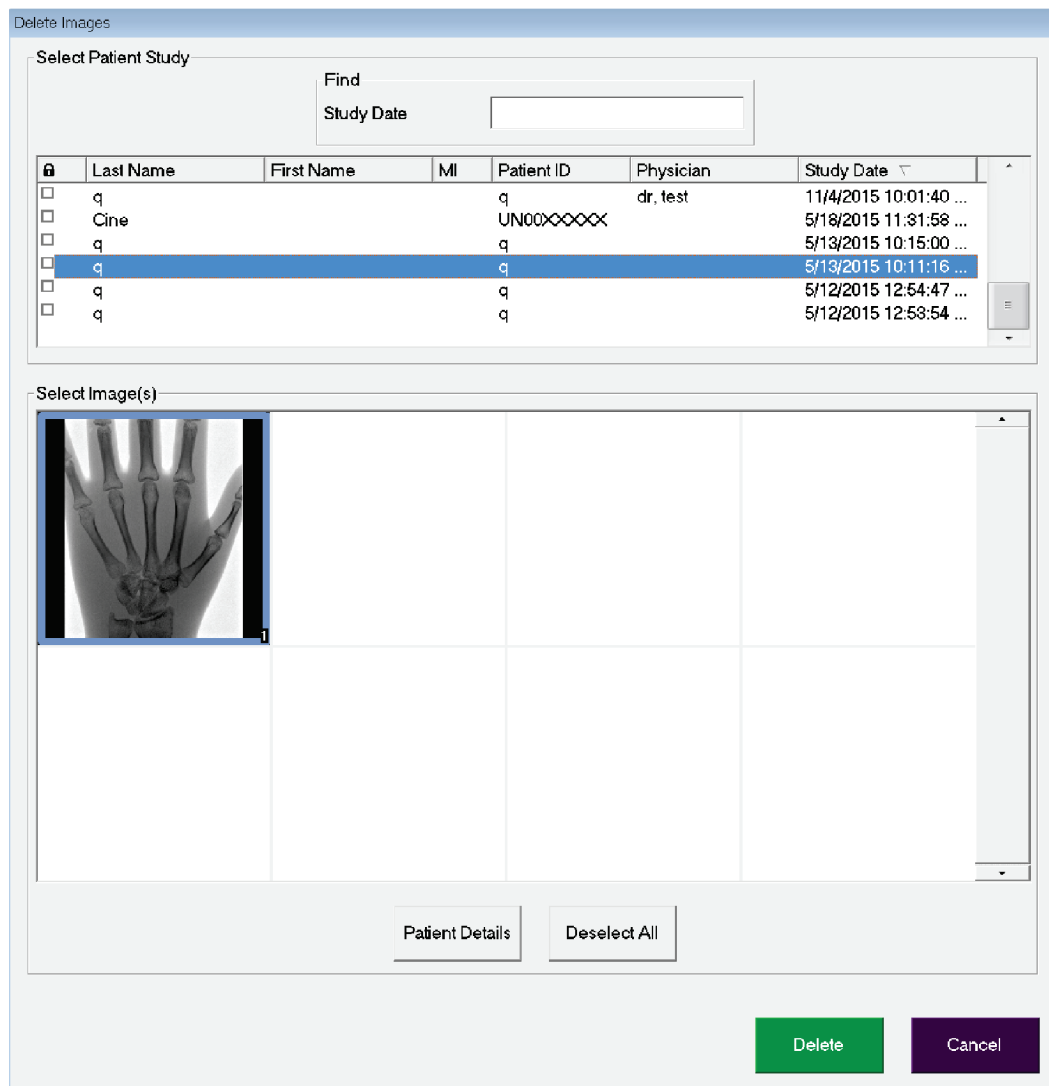


図 50: 削除する画像を選択

表 50: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
<b>Select Patient Study</b> (被検者の検査を選択)	システム上のすべての被検者/検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション ([Find] (検索)) です。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。 複数の検査の選択が可能です。検査を1つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が[Select Images] (画像の選択) セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。
<b>Find (検索)</b>	被検者/検査をすばやく検索するために使用します。
<b>Select Image(s)</b> (画像を選択)	被検者/検査を1つ選択した場合、画像が表示されます。 複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。 選択した被検者/検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。 選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または[Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択/解除できます。

表 51: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
<b>Patient Details</b> (被検者の詳細)	画像を1枚選択した場合のみ有効化されます。 被検者情報を表示します。
<b>Select All/Deselect All</b> (すべて選択/ すべて削除)	画像選択リストですべての画像を選択または解除します。
<b>Delete (削除)</b>	画像選択リストで選択した画像をInSight-FDシステムから削除します。複数の検査が選択された場合、各検査のすべての画像が削除されます。システム設定の[Query on Delete] (削除時の質問) を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。[Yes] (はい) を選択すると削除が確定し、[No] (いいえ) を選択すると削除がキャンセルされます。
<b>Cancel (キャンセル)</b>	画像を削除せずにウィンドウを閉じて[Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 17.10 View DICOM Queue (DICOMキューの表示) ウィンドウ

[Tools] (ツール) メニューおよび[Review Images] (画像のレビュー) 画面からアクセスできます。

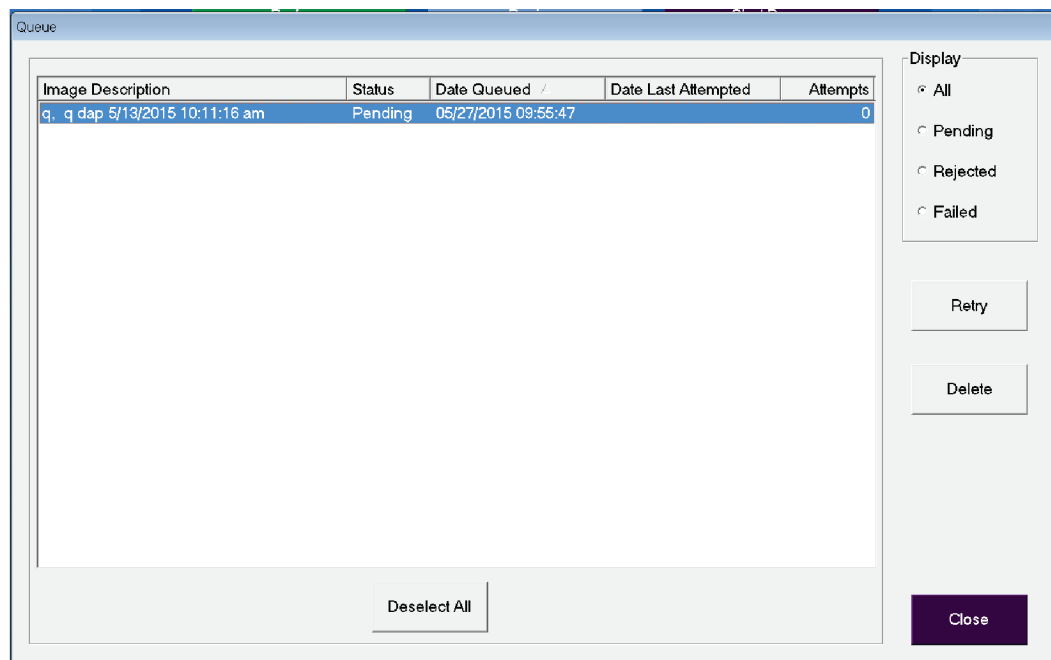


図 51: View DICOM Queue (DICOM キューを表示)

表 52: Queue (キュー) ウィンドウ、セクションの説明、ボタンの機能

セクション/ボタン	説明/機能
DICOM Queue List (DICOM キュー リスト)	キューの要求情報の選択リストで、フィルタリングが可能です。
Display (ディスプレイ)	選択したラジオボタンに応じて選択リストをフィルタリングします。
Select All/Deselect All (すべて選択/すべて削除)	[Queue] (キュー) リストにあるすべてのDICOM要求を選択または解除します。
Delete (削除)	選択したDICOM要求を削除します。
Retry (再試行)	システムが、選択したDICOM要求の再送信を試みます。
OK	[Queue] (キュー) ウィンドウを閉じて前の画面に戻ります ([Main] (メイン) 画面または[Review Images] (画像のレビュー) 画面)。



## 第18章 システムのメンテナンス

### 18.1 システム バックアップ

すべてのユーザーが、[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューから[System Backup] (システムバックアップ) を選択して、システム設定およびキャリブレーションデータを選択済みリムーバブルメディアデバイスにバックアップできます。

### 18.2 システム復旧

管理者は、[Main] (メイン) 画面の[Tools] (ツール) メニューから[System Recover] (システム復旧) を選択して、選択済みリムーバブルメディアデバイスからシステム設定およびキャリブレーションデータを復旧できます。

### 18.3 クリーニング

InSight-FDミニCアームの表面の清掃は、1週間に1回、および表面が汚れた後は随時、行ってください。キャビネット、フレックスアーム、Cアームの表面は、柔らかい布か使い捨てのリントフリーのティッシュを、水、イソプロパノール、またはメタノールで湿らせて拭きます。10%の漂白剤溶液を使用して殺菌します。表面をこすらず、軽く拭きます。モニターのタッチ画面の清掃には、市販の眼鏡クリーナーを使用することができます。



**警告：**

装置をAC電源から切断してから、システムにクリーナーや消毒剤を使用します。

---

### 18.3.1 推奨される消毒剤

表 53: 推奨されるウエス

クリーナー
PDI Super Sani-Cloth Germicidal Disposable Wipes
PDI Sani-Cloth plus Germicidal Disposable Cloth

表 54: 推奨される化学物質

主成分のタイプ	代表的な商品
塩素系（最大10%の溶液）	Clorox、Nolvasan
ホルムアルデヒド系	ホルムアルデヒド溶液37%、Vinco、Formaldegén
グルタルアルデヒド系	Aldacide 200、Lysoform、Wavicide
フェノール類	Lysol I.C.、Beaucoup、Magna Clean、Tek-Trol
アルコール系	CaviCide、イソプロピルアルコール、Medicide
酸化剤	過酸化水素水3%溶液、Lifeguardシリーズ
第四級アンモニウム系	Roccal-D、Bactosep、Parvosol
石鹼と水	

### 18.4 予防保守

Hologicでは、認定を受けたサービスエンジニアによる予防保守を最低年1回実施することを推奨しています。

### 18.5 トラブルシューティング

お使いの装置の適切な操作に関してサポートが必要な場合は、Hologicカスタマーサポートまでお問い合わせください。

フリーダイヤル（米国）：+1.800.321.4659

Eメール：SkeletalHealth.Support@hologic.com

### 18.6 廃棄



廃電気・電子製品（WEEE）に関する欧州連合（EU）指令2002/96/ECに準拠して廃棄されるべき機器。



# HOLOGIC®



**Hologic, Inc.**  
600 Technology Drive  
Newark, DE 19702 USA  
1.800.447.1856

**Australia**

**Hologic (Australia & New Zealand) Pty Ltd**  
Level 3, Suite 302  
2 Lyon Park Road  
Macquarie Park, NSW 2113  
Australia  
1.800.264.073

**EC REP**

**Hologic BV**  
Da Vincilaan 5  
1930 Zaventem  
Belgium  
Tel: +32.2.711.46.80  
Fax: +32.2.725.20.87

**CE**  
**2797**